

ISL Conference Proxy 4.4.2240.132 (2023.11.9)

ISL Conference Proxy 4.4.2240.132 for Windows

● 新機能

- ◆ オペレーター招待時にログイン認証をスキップできるようになりました。
- ◆ レコーディングの制限を追加しました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.1.1v に更新しました。
- ◆ オンラインページのデザインが新しくなりました。
- ◆ サーバー管理者ユーザーの登録方法が変更になりました。
- ◆ 一定時間内でパスワードリセットメールを送信できる回数が制限されるようになりました。(初期値: 30 分あたり 5 通)
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 で IP アドレスによる端末の検索ができない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light for Android
 - ISL Light for iOS (バージョン 4.4.2006.36 以前)
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality] (「WOL 送信」ボタンの非表示) の設定はご利用いただけません。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
ISL Conference Proxy 4.4.1947.98 で追加された[Configuration]-[Security]-[Reject passwords from password blacklist.txt:] は、4.4.2044.79 以降では [Allow passwords from password_blacklist.txt]に変更になっております。この設定は、ISL Conference Proxy 4.4.2044.79 以降へアップグレードした際に引き継がれず、必ず初期値になりますのでご注意ください。

ISL Light 4.4.2234.73 for Windows

● 新機能

- ◆ オペレーター招待時にログイン認証をスキップできるようになりました。
- ◆ PC のシステム管理ツールを ISL Light のツールバーから起動できるクイック起動を追加しました
- ◆ 接続できる時間帯を制限できるようになりました。設定方法につきましては、ドメイン管理マニュアルをご覧ください。
- ◆ セッションを終了させたユーザー名が、ダイアログに表示されるようになりました。
- ◆ 接続先が Windows の場合、セッション接続中の解像度が選択できるようになりました。
- ◆ システム情報から、クイック起動にある機能が起動できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。
- ◆ ポインターの画像を変更しました。
- ◆ ファイルマネージャーのイベントログ上で「オペレーター」の操作が「クライアント」と表示される問題を解消しました。
- ◆ 接続先が macOS 場合、システム情報内の OS が正常に表示されない問題を解消しました。
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 で IP アドレスによる端末の検索ができない問題を解消しました。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が macOS の場合でも利用できるようになりました。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]が動作しない問題を解消しました。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待が、セッションの転送先が macOS 及び Linux の場合でも動作するようになりました。
- ◆ ファイルマネージャーやチャット画面などの子画面を開いている際にサーバーからセッションを切断すると、子画面が終了しない問題を解消しました。
- ◆ マルチモニターをご利用の際、画面共有の範囲を変更すると、ツールバー上のモニターアイコンが非表示になる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があ

ります（ワнтаイム画面から該当のセッションを中止してください）。

- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light 側での発信が終了しません。
- ◆ クイック起動はコントロールの禁止により制御できません。
- ◆ 接続先が macOS Ventura の場合、システム情報内のディスプレイに「利用不可」と表示されます。
- ◆ 接続先が LinuxOS の場合、セッション再接続を有効にできません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（SSH 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ オペレーターが Windows 8 以降かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）を持つユーザーで常駐接続を行う場合は、管理者モードおよびセッション再接続が自動で有効になります。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk&Client 4.4.2234.55 for Windows

● 新機能

- ◆ マルチモニターに対応しました。(接続先に複数のモニターがある場合に接続画面を個々のウィンドウでマルチ表示できます) ※接続元が ISL Light を使用する必要があります。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。
- ◆ ステータスバーのデザインが新しくなりました。変更点の詳細についてはこちらをご覧ください。
- ◆ ポインターの画像を変更しました。
- ◆ 接続元で管理者モードの資格情報を入力できない問題を解消しました。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降におけるブラックスクリーンの方式を変更しました。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末に対してブラックスクリーンが実行できるようになりました。
- ◆ モバイル端末に対して、Windows のデスクトップ画面共有時に[品質を優先]が有効にならない問題を解消しました。
- ◆ 接続先が Windows 11/10 バージョン 22H2 である場合、ISL Light Client チャット画面から[ファイル転送]-[受信]をした場合、オペレーター側に表示されるエクスプローラが正常に表示されない問題を解消しました。
- ◆ 接続先が Windows OS(64bit)である場合、システム情報内の OS のエディション名が正常に表示されない問題を解消しました。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待が、セッションの転送先が macOS 及び Linux の場合でも動作するようになりました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末では、Windows 側のセキュリティ制限によりドライバがインストールできません。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降でブラックスクリーンの実行に必要なドライバーのインストール後は、端末のディスプレイの輝度を変更できません (ドライバーのアンインストールを行うことで、再度ディスプレイの輝度を変更できます)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ 接続先が Windows 11 バージョン 22H2 である場合、遠隔プリントは利用できません。(2022.12.23 追記)

- ◆ 接続端末がマルチモニターを使用時に、[ツール]-[画面共有の範囲]からモニターを正しく選択することができません。

● 注意事項

- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でクライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [設定]-[デスクトップ背景を表示しない]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ 接続先が Windows の ISL Light Client をご利用の場合は、クイック起動はご利用になれません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 4.4.2234.53 for Windows

● 新機能

- ◆ 接続可能スケジュール設定に新たな設定が追加され、接続時間（秒指定）で指定できるようになりました。設定方法につきましては、ドメイン管理マニュアルをご覧ください。。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード（*）を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。
- ◆ [ファイルの同期を行う]にチェックをすると正常に転送ができません。チェックせずに転送を行ってください。

● 注意事項

- ◆ Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 の端末へインストールを行った場合は ISL AlwaysOn 2.2.10 が起動します。
- ◆ サウンドを共有するためには、音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する]は、Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式と併用できません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以

下の機能はご利用になれません。

- テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
 - ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
 - ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色 (オンライン) の状態が表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ Windows XP および Windows Server 2003、2003 R2 の端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。(詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダ)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。
- ◆ 「インスタントクローン」など端末の設定が都度初期化される環境では、ISL AlwaysOn を利用できません。(2022.2.9)

ISL Groop 4.4.2234.17 for Windows

● 新機能

- ◆ 画面共有時のレンダリングを設定できるようになりました。
- ◆ 画面共有時の画質を設定できるようになりました。
- ◆ 複数の参加者を選択して、一括操作ができるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.2 に更新しました。
- ◆ スライドビューに作成者の名前が表示されるようになりました。
- ◆ セッション中に接続された外部カメラが検出されるようになりました。
- ◆ 参加者エリアのデザインを改良しました。詳しくはこちらをご覧ください。
- ◆ ホストが共有中のスライドを削除してもゲストに表示されたままになっていた問題を解消しました。
- ◆ 使用中の外部カメラの接続を切断すると、ISL Groop がクラッシュする問題を解消しました。
- ◆ 設定を開くと、サブウィンドウのマイクアイコンの文字色が緑に変わってしまう問題を解消しました。
- ◆ 新しい通知から表示されるようになりました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
※ISL Conference Proxy 4.4.2044.79 をご利用の場合には、本事象は修正されています。
- ◆ 特定のアプリケーションを選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Pronto 4.4.1932.44 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ クライアントとチャット時に、クライアントの送信前のチャット内容がオペレーター側に正常に表示されません。
- ◆ 文字コードが UTF-8 の.txt ファイルをチャット画面上で送信すると、開いたファイルが文字化けして表示されます。
- ◆ [ファイル]-[設定]-[通知]-[詳細設定]-[全画面表示でアプリケーションが作動している状態]が正常に機能しません。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。

ISL Light 4.4.2234.73 for Mac

● 新機能

- ◆ オペレーター招待時にログイン認証をスキップできるようになりました。
- ◆ PC のシステム管理ツールを ISL Light のツールバーから起動できるクイック起動を追加しました。
- ◆ 接続できる時間帯を制限できるようになりました。設定方法につきましては、ドメイン管理マニュアルをご覧ください。
- ◆ セッションを終了させたユーザー名が、ダイアログに表示されるようになりました。
- ◆ 接続先が Windows の場合、セッション接続中の解像度が選択できるようになりました。
- ◆ システム情報から、クイック起動にある機能が起動できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が macOS 10.14 (Mojave) 以降になりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。
- ◆ ポインターの画像を変更しました。
- ◆ ファイルマネージャーのイベントログ上で「オペレーター」の操作が「クライアント」と表示される問題を解消しました。
- ◆ 接続先が macOS 場合、システム情報内の OS が正常に表示されない問題を解消しました。
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 で IP アドレスによる端末の検索ができない問題を解消しました。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が macOS の場合でも利用できるようになりました。
- ◆ macOS 端末から Windows 端末にワンタイム接続時、[設定]-[ログ]-[ログの取得(クライアント)]を選択できない問題を解消しました。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待が、セッションの転送先が macOS 及び Linux の場合でも動作するようになりました。
- ◆ ファイルマネージャーやチャット画面などの子画面を開いている際にサーバーからセッションを切断すると、子画面が終了しない問題を解消しました。
- ◆ マルチモニターをご利用の際、画面共有の範囲を変更すると、ツールバー上のモニターアイコンが非表示になる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります (ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください)。

- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light 側での発信が終了しません。
- ◆ macOS Big Sur からの代替接続 (RDP 接続) 時は、RDP 接続用クライアント (Parallels Client) を終了してもセッションは終了しません。ISL Light からセッションを終了してください。
- ◆ 常駐接続タブ内[アクション]-[パスワードの変更]から個別パスワードが変更できません。パスワードを変更する場合は、ISL AlwaysOn の設定から直接変更してください。
- ◆ クイック起動はコントロールの禁止により制御できません。
- ◆ 接続先が macOS Ventura の場合、システム情報内のディスプレイに「利用不可」と表示されます。
- ◆ 接続先が LinuxOS の場合、セッション再接続を有効にできません。
- ◆ 常駐接続をする際、アクセスパスワードの「パスワードを保存」が保存されません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続 (RDP 接続) をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.2234.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が macOS 10.14 (Mojave) 以降になりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。
- ◆ ポインターの画像を変更しました。
- ◆ 接続先が Windows OS(64bit)である場合、システム情報内の OS のエディション名が正常に表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light Client から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light Client 側での発信が終了しません。(2021.05.31 追記)

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ オンラインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」
 - (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の「ファイル転送」の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値(自動)になっている場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

ISL AlwaysOn 4.4.2234.53 for Mac

● 新機能

- ◆ 接続可能スケジュール設定に新たな設定が追加され、接続時間（秒指定）で指定できるようになりました。設定方法につきましては、ドメイン管理マニュアルをご覧ください。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。
- ◆ UI の言語が変更できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
 - 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。
- ◆ [ファイルの同期を行う]にチェックをすると正常に転送ができません。チェックせずに転送を行ってください。
- ◆ [ローカルユーザーがログインしていない場合、確認メッセージの表示をスキップする] が正常に動

作しません。

● 注意事項

- ◆ 高速接続（接続オプション[Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時（UTC）が適用されます。
- ◆ 「ISL AlwaysOn 4.4.2031.44 for Mac」以前からアップグレードする場合、事前設定が必要です。（2022.12.23 追加）
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。（主にトラブルシューティングで使用します）
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文

字化けします。

- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダ）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。

ISL Groop 4.4.2234.17 for Mac

● 新機能

- ◆ 画面共有時のレンダリングを設定できるようになりました。
- ◆ 画面共有時の画質を設定できるようになりました。
- ◆ 複数の参加者を選択して、一括操作ができるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.2 に更新しました。
- ◆ スライドビューに作成者の名前が表示されるようになりました。
- ◆ セッション中に接続された外部カメラが検出されるようになりました。
- ◆ 参加者エリアのデザインを改良しました。詳しくはこちらをご覧ください。
- ◆ ホストが共有中のスライドを削除してもゲストに表示されたままになっていた問題を解消しました。
- ◆ 使用中の外部カメラの接続を切断すると、ISL Groop がクラッシュする問題を解消しました。
- ◆ 設定を開くと、サブウィンドウのマイクアイコンの文字色が緑になってしまう問題を解消しました。
- ◆ 新しい通知から表示されるようになりました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ macOS のユーザーからリモート接続を開始する場合、ISL Light がインストールされている必要があります。(2021.09.30 追記)

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Pronto 4.4.1932.44 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ クライアントとチャット時に、クライアントの送信前のチャット内容がオペレーター側に正常に表示されません。
- ◆ 文字コードが UTF-8 の.txt ファイルをチャット画面上で送信すると、開いたファイルが文字化けして表示されます。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。
- ◆ メニューの一部が英語で表示されます。

ISL Conference Proxy 4.4.2240.132 for Linux

● 新機能

- ◆ オペレーター招待時にログイン認証をスキップできるようになりました。
- ◆ レコーディングの制限を追加しました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.1.1v に更新しました。
- ◆ オンラインページのデザインが新しくなりました。
- ◆ 一定時間内でパスワードリセットメールを送信できる回数が制限されるようになりました。(初期値: 30分あたり5通)
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 で IP アドレスによる端末の検索ができない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light for Android
 - ISL Light for iOS (バージョン 4.4.2006.36 以前)
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality] (「WOL 送信」ボタンの非表示) の設定はご利用いただけません。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.1947.98 で追加された [Configuration]-[Security]-[Reject passwords from password blacklist.txt:] は、4.4.2044.79 以降では [Allow passwords from password_blacklist.txt] に変更になっております。この設定は、ISL Conference Proxy 4.4.2044.79 以降へアップグレードした際に引き継がれず、必ず初期値になりますのでご注意ください。

ISL Light 4.4.2234.73 for Linux

● 新機能

- ◆ オペレーター招待時にログイン認証をスキップできるようになりました。
- ◆ PC のシステム管理ツールを ISL Light のツールバーから起動できるクイック起動を追加しました。
- ◆ 接続できる時間帯を制限できるようになりました。設定方法につきましては、ドメイン管理マニュアルをご覧ください。
- ◆ セッションを終了させたユーザー名が、ダイアログに表示されるようになりました。
- ◆ 接続先が Windows の場合、セッション接続中の解像度が選択できるようになりました。
- ◆ システム情報から、クイック起動にある機能が起動できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。
- ◆ ポインターの画像を変更しました。
- ◆ ファイルマネージャーのイベントログ上で「オペレーター」の操作が「クライアント」と表示される問題を解消しました。
- ◆ 接続先が macOS 場合、システム情報内の OS が正常に表示されない問題を解消しました。
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 で IP アドレスによる端末の検索ができない問題を解消しました。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が macOS の場合でも利用できるようになりました。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待が、セッションの転送先が macOS 及び Linux の場合でも動作するようになりました。
- ◆ ファイルマネージャーやチャット画面などの子画面を開いている際にサーバーからセッションを切断すると、子画面が終了しない問題を解消しました。
- ◆ マルチモニターをご利用の際、画面共有の範囲を変更すると、ツールバー上のモニターアイコンが非表示になる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 接続先が Windows OS の場合、端末間で全角文字をクリップボードで共有できません。
- ◆ 文字入力は接続先の IME に依存します。

- ◆ Linux OS でファイルを受領できない場合、ファイルの保存先を変更して受領してください。
- ◆ [画面を見せる]をクリックした場合、自動で画面共有が開始されます。
- ◆ クイック起動はコントロールの禁止により制御できません。
- ◆ 接続先が macOS Ventura の場合、システム情報内のディスプレイに「利用不可」と表示されます。
- ◆ 接続先が LinuxOS の場合、セッション再接続を有効にできません。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は Linux では動作しません。
- ◆ グループ名やタグなどの登録時に日本語が入力できません。
- ◆ [システム情報] の[詳細情報を取得]が動作しません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ Linux OS では、ビデオチャット機能はご利用になれません。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.2234.10 for Linux

● 新機能

- ◆ Linux に対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ セッション中、再度[画面を見る]を選択された場合、自動で画面共有が開始されます。
- ◆ Linux OS でファイルを受領できない場合、ファイルの保存先を変更して受領してください。
- ◆ [キーボード] - [ローカルレイアウト]を選択されている際、接続元の IME が日本語の場合は文字入力できません。
- ◆ セッション再接続を有効にできません。
- ◆ 接続先が Windows OS(64bit)である場合、システム情報内の OS のエディション名が正常に表示されません。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。
- ◆ Linux OS では、ビデオチャット機能はご利用になれません。

ISL AlwaysOn 4.4.2234.53 for Linux

● 新機能

- ◆ 接続可能スケジュール設定に新たな設定が追加され、接続時間（秒指定）で指定できるようになりました。設定方法につきましては、ドメイン管理マニュアルをご覧ください。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.3 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
 - 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。
- ◆ [ファイルボックスを最小化]を選択できません。
- ◆ Linux OS でファイルを受領できない場合、「ファイルマネージャー」機能を使用してください。
- ◆ [ファイルの同期を行う]にチェックをすると正常に転送ができません。チェックせずに転送を行って

ください。

- ◆ [ローカルユーザーがログインしていない場合、確認メッセージの表示をスキップする] が正常に動作しません。

● 注意事項

- ◆ 高速接続（接続オプション[Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキストチャット
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時（UTC）が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。（主にトラブルシューティングで使用します）
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ UI の言語は変更できません。

ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 (2022.12.8)

ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 for Windows

● 新機能

- ◆ セッションコードの入力回数を制限できるようになりました。
- ◆ メインユーザーの設定を追加しました。
- ◆ 常駐接続の「状態」列に「接続中」のステータスが表示されるようになりました。接続中のユーザーは、当該行にマウスオーバーすると確認できます。
- ◆ ISL AlwaysOn をエージェントとしてインストールできる端末の台数を制限できるようになりました。
※共有された端末はこの台数に含まれません。
- ◆ 端末に接続できる最大数を設定できるようになりました。
- ◆ 常駐接続できる時間帯を制限できるようになりました
- ◆ オンラインページから、ISL Groop の利用履歴が確認できるようになりました。
- ◆ ワンタイム接続の履歴に表示するデータとして、以下の項目が選択できるようになりました。
 - 詳細 (クライアント)
- ◆ ドメイン管理からユーザー情報を CSV 出力できるようになりました。 ※項目名は英語で表示されま
- ◆ ISL Pronto 使用時のファイルの送受信を制限できるようになりました。
- ◆ カスタマイズ URL 内に正しくない引数が指定されているプログラムをダウンロードしようとする、拒否 (403)できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ 一部 UI・デザインを改良しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.1.1o に更新しました。
- ◆ jQuery のバージョンを 3.6 に更新しました。
- ◆ Bootstrap のバージョンを 4.6 に更新しました。
- ◆ レコーディングファイルの自動保存を設定時に、 [Activity Monitor]-[Sessions]-[Active]のセッション情報内に表示されるファイルがダウンロードできない問題を解消しました。
- ◆ Microsoft Edge でプログラムをダウンロードした時の案内を非表示にしました。
- ◆ ブラウザ上で閲覧可能なファイルの初期設定が「image/(jpeg|png|gif|webp)」になりました。
(「text/plain」が削除されました)
- ◆ 以下の設定項目の初期値の表記が 16 進数表記に変更となりました。
 - HTTP SSL protocol
 - Application MUX SSL protocol,

- GRID SSL protocol
- ◆ 以下の項目の初期値が「No」から「Yes」に変更になりました。
 - [Configuration]-[Data lifecycle]-[History settings]-[Allow automatic delete]

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light Desk for Mac
 - ISL Light for Android
 - ISL Light for iOS (バージョン 4.4.2006.36 以前)
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality] (「WOL 送信」 ボタンの非表示) の設定はご利用いただけません。
- ◆ ISL Conference Proxy のバージョンが 4.4.2210.45 をご利用の環境では、IP アドレスによる端末の検索がご利用いただけません。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1734 以前から 4.4.1816.71 以降へアップグレードする際に、ISL Light の接続オプション[メインウィンドウを非表示にする]のチェックが入っている場合はチェックが外れます。本オプションをご利用の場合は、再度チェックを入れて接続を開始してください。
- ◆ ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1947.98 以前から 4.4.2044.79 以降へアップグレードする際に、 [Configuration]-[Security]-[Reject passwords from password_blacklist.txt]の設定の内容が引き継がれません。オプション名が[Allow passwords from password_blacklist.txt]に変更されましたので、再度設定を行ってください。

ISL Light 4.4.2116.177 for Windows

● 新機能

- ◆ 常駐接続の「状態」列に「接続中」のステータスと接続中のユーザーが表示されるようになりました。ただし、代替接続中はユーザー名は表示されません。
- ◆ 常駐接続の「状態」列を非表示にできるようになりました。
- ◆ 良く使う代替接続の設定をデフォルトとして登録できるようになりました。
- ◆ レコーディングからファイルマネージャーの操作履歴が確認できるようになりました。
- ◆ ツールバーの表示位置がカスタマイズで指定できるようになりました。
- ◆ アクセスパスワードをカスタマイズで指定できるようになりました。
- ◆ 画面共有時の操作を録画するアイコンを、カスタマイズで非表示にできるようになりました。
- ◆ 録画ファイル名に指定できるカスタマイズのオプションを追加しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 一部 UI・デザインを改良しました。
- ◆ ISL Light iOS と接続時、ビデオチャット中、ISL Light iOS の内カメラと外カメラの切り替えが正常に動作しない問題を解消しました。
- ◆ 接続先が AMD 社製の「APU」を搭載した Windows 11 端末でブラックスクリーン機能を有効にすると、接続先端末がスリープする問題を解消しました。
- ◆ 接続端末がマルチモニターを使用時に、[ツール]-[画面共有の範囲]からモニターを正しく選択できない問題を解消しました。
- ◆ システム情報内の OS が正常に表示されない問題を解消しました。
- ◆ 常駐接続端末の検索で全角入力時に変換の途中で実行されてしまう問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL

Light 側での発信が終了しません。

- ◆ 接続先が macOS 場合、システム情報内の OS が正常に表示されません。
- ◆ ファイルマネージャーのイベントログ上で「オペレーター」の操作が「クライアント」と表示されません。
- ◆ ISL Conference Proxy のバージョンが 4.4.2210.45 をご利用の環境では、IP アドレスによる端末の検索がご利用いただけません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（SSH 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ オペレーターが Windows 8 以降かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）を持つユーザーで常駐接続を行う場合は、管理者モードおよびセッション再接続が自動で有効になります。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk&Client 4.4.2116.42 for Windows

● 新機能

- ◆ ISL Light のファイルマネージャーに対応しました。(ISL Light Client のみ)

● 変更・修正事項

- ◆ Audio module のカスタマイズ利用時に、ワンタイム接続の開始と同時に音声チャットを開始できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末では、Windows 側のセキュリティ制限によりドライバがインストールできないためブラックスクリーンの機能はご利用いただけません。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降でブラックスクリーンの実行に必要なドライバーのインストール後は、端末のディスプレイの輝度を変更できません (ドライバーのアンインストールを行うことで、再度ディスプレイの輝度を変更できます)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ モバイル端末に対して、Windows のデスクトップ画面共有時に[品質を優先]が有効になりません。
- ◆ 接続先が Windows OS(64bit)である場合、システム情報内の OS のエディション名が正常に表示されません。(2022.12.8 追記)

● 注意事項

- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でクライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [設定]-[デスクトップ背景の表示]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 4.4.2234.23 for Windows

● 新機能

- ◆ ユーザーがログインしていない端末へアクセスする際に、事前確認をスキップする設定が追加されました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.1 に更新しました。
- ◆ 「常駐接続時に表示されるタスクトレイ内のアイコンが変更になりました。
- ◆ [セッション終了時にコンピューターをロックする]にチェックを入れると、セッション終了時に常に端末がロックされるようになりました
- ◆ Windows11 では、タスクトレイアイコンのツールチップの情報が表示されない問題を解消しました。
- ◆ 「インスタントクローン」など端末の設定が都度初期化される環境では、ISL AlwaysOn を利用できない問題を解消しました。当該環境での利用を検討される場合は、[こちら](#)をご確認ください。

● 制限事項

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。
- ◆ [ファイルの同期を行う]にチェックをすると正常に転送ができません。チェックせずに転送を行ってください。

● 注意事項

- ◆ Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 の端末へインストールを行った場合は ISL AlwaysOn 2.2.10 が起動します。
- ◆ サウンドを共有するためには、音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する]は、Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式と併用できません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ Windows XP および Windows Server 2003、2003 R2 の端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。(詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダ)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。
- ◆ 「インスタントクローン」など端末の設定が都度初期化される環境では、ISL AlwaysOn を利用できません。(2022.2.9)

ISL Groop 4.4.2013.22 for Windows

● 新機能

- ◆ 2段階認証ログインに対応しました。
- ◆ 画面共有時にウィンドウが小窓表示されるようになりました（元のウィンドウは最小化されます）。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
※ISL Conference Proxy 4.4.2044.79 をご利用の場合には、本事象は修正されています。
- ◆ 特定のアプリケーションを選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Pronto 4.4.1932.44 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ クライアントとチャット時に、クライアントの送信前のチャット内容がオペレーター側に正常に表示されません。
- ◆ 文字コードが UTF-8 の.txt ファイルをチャット画面上で送信すると、開いたファイルが文字化けして表示されます。
- ◆ [ファイル]-[設定]-[通知]-[詳細設定]-[全画面表示でアプリケーションが作動している状態]が正常に機能しません。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。

ISL Light 4.4.2116.177 for Mac

● 新機能

- ◆ 常駐接続の「状態」列に「接続中」のステータスと接続中のユーザーが表示されるようになりました。ただし、代替接続中はユーザー名は表示されません。
- ◆ 常駐接続の「状態」列を非表示にできるようになりました。
- ◆ 良く使う代替接続の設定をデフォルトとして登録できるようになりました。
- ◆ レコーディングからファイルマネージャーの操作履歴が確認できるようになりました。
- ◆ ツールバーの表示位置がカスタマイズで指定できるようになりました。
- ◆ アクセスパスワードをカスタマイズで指定できるようになりました。
- ◆ 画面共有時の操作を録画するアイコンを、カスタマイズで非表示にできるようになりました。
- ◆ 録画ファイル名に指定できるカスタマイズのオプションを追加しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 一部 UI・デザインを改良しました。
- ◆ 最低動作環境が macOS 10.13 (High Sierra) 以降になりました。
- ◆ macOS Catalina 以降でのビデオチャットに対応しました。(一部カスタマイズに制限があります)
- ◆ ISL Light iOS と接続時、ビデオチャット中、ISL Light iOS の内カメラと外カメラの切り替えが正常に動作しない問題を解消しました。
- ◆ 接続端末がマルチモニターを使用時に、[ツール]-[画面共有の範囲]からモニターを正しく選択できない問題を解消しました。
- ◆ 常駐接続端末の検索で全角入力時に変換の途中で実行されてしまう問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります (ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください)。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light 側での発信が終了しません。
- ◆ macOS Big Sur からの代替接続 (RDP 接続) 時は、RDP 接続用クライアント (Parallels Client) を終了してもセッションは終了しません。ISL Light からセッションを終了してください。

- ◆ macOS 端末から Windows 端末にワンタイム接続時、[設定]-[ログ]-[ログの取得(クライアント)]を選択するとエラーが表示されます。
- ◆ 接続先が macOS 場合、システム情報内の OS が正常に表示されません。
- ◆ ファイルマネージャーのイベントログ上で「オペレーター」の操作が「クライアント」と表示されません。
- ◆ 常駐接続タブ内[アクション]-[パスワードの変更]から個別パスワードが変更できません。個別パスワードを変更する場合は ISL AlwaysOn の設定から直接行ってください。
- ◆ ISL Conference Proxy のバージョンが 4.4.2210.45 をご利用の環境では、IP アドレスによる端末の検索がご利用いただけません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（RDP 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.2116.19 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が macOS 10.13 (High Sierra) 以降になりました。
- ◆ macOS Catalina 以降でのビデオチャットに対応しました。(一部カスタマイズに制限があります)
- ◆ ISL Light iOS と接続時、ビデオチャット中、ISL Light iOS の内カメラと外カメラの切り替えが正常に動作しない問題を解消しました。
- ◆ 接続端末がマルチモニターを使用時に、[ツール]-[画面共有の範囲]からモニターを正しく選択できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light Client から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light Client 側での発信が終了しません。(2021.05.31 追記)
- ◆ 接続先が Windows OS(64bit)である場合、システム情報内の OS のエディション名が正常に表示されません。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ オンラインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」
 - (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の「ファイル転送」の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値(自動)になっている場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

ISL AlwaysOn 4.4.2234.23 for Mac

● 新機能

- ◆ ユーザーがログインしていない端末へアクセスする際に、事前確認をスキップする設定が追加されました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.1 に更新しました。
- ◆ 最低動作環境が macOS 10.14 (Mojave) 以降になりました。
- ◆ 常駐接続時に表示されるタスクトレイ内のアイコンが変更になりました。
- ◆ [セッション終了時にコンピューターをロックする]にチェックを入れると、セッション終了時に常に端末がロックされるようになりました。
- ◆ macOS Ventura では、ISL AlwaysOn インストール後に OS 再起動が不要になりました。インストール後、[事前設定](#)を行ってください。
- ◆ 「インスタントクローン」など端末の設定が都度初期化される環境では、ISL AlwaysOn を利用できない問題を解消しました。当該環境での利用を検討される場合は、[こちら](#)をご確認ください。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。

- 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。
- ◆ [ファイルの同期を行う]にチェックをすると正常に転送ができません。チェックせずに転送を行ってください。

● 注意事項

- ◆ macOS 10.9 以下の場合、Windows/macOS ユーザーを使用したアクセス認証方式はご利用になれません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。（主にトラブルシューティングで使用します）
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ UI の言語は変更できません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしていません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文

字化けします。

- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。

ISL Groop 4.4.2013.22 for Mac

● 新機能

- ◆ 2段階認証ログインに対応しました。
- ◆ 画面共有時にウィンドウが小窓表示されるようになりました（元のウィンドウは最小化されます）。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ 動作環境が OS X 10.10 (Yosemite) 以降になりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ macOS のユーザーからリモート接続を開始する場合、ISL Light がインストールされている必要があります。（2021.09.30 追記）

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Pronto 4.4.1932.44 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ クライアントとチャット時に、クライアントの送信前のチャット内容がオペレーター側に正常に表示されません。
- ◆ 文字コードが UTF-8 の.txt ファイルをチャット画面上で送信すると、開いたファイルが文字化けして表示されます。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。
- ◆ メニューの一部が英語で表示されます。

ISL Conference Proxy 4.4.2210.45 for Linux

● 新機能

- ◆ Linux に対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light Desk for Mac
 - ISL Light for Android
 - ISL Light for iOS (バージョン 4.4.2006.36 以前)
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality] (「WOL 送信」ボタンの非表示) の設定はご利用いただけません。
- ◆ ISL Conference Proxy のバージョンが 4.4.2210.45 をご利用の環境では、IP アドレスによる端末の検索がご利用いただけません。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1947.98 以前から 4.4.2044.79 以降へアップグレードする際に、[Configuration]-[Security]-[Reject passwords from password_blacklist.txt] の設定の内容が引き継がれません。オプション名が [Allow passwords from password_blacklist.txt] に変更されましたので、再度設定を行ってください。

ISL Light 4.4.2116.177 for Linux

● 新機能

- ◆ Linux に対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 接続先が macOS 場合、システム情報内の OS が正常に表示されません。
- ◆ 接続先が Windows OS の場合、端末間で全角文字をクリップボードで共有できません。
- ◆ 文字入力は接続先の IME に依存します。
- ◆ Linux OS でファイルを受領できない場合、ファイルの保存先を変更して受領してください。
- ◆ [画面を見せる]をクリックした場合、自動で画面共有が開始されます。
- ◆ ファイルマネージャーのイベントログ上で「オペレーター」の操作が「クライアント」と表示されません。
- ◆ ISL Conference Proxy のバージョンが 4.4.2210.45 をご利用の環境では、IP アドレスによる端末の検索がご利用いただけません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。

- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ 代替接続（RDP 接続）はご利用になれません。
- ◆ Linux OS では、ビデオチャット機能はご利用になれません。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.2116.19 for Linux

● 新機能

- ◆ Linux に対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ セッション中、再度[画面を見る]を選択された場合、自動で画面共有が開始されます。
- ◆ Linux OS でファイルを受領できない場合、ファイルの保存先を変更して受領してください。
- ◆ [キーボード] - [ローカルレイアウト]を選択されている際、接続元の IME が日本語の場合は文字入力できません。
- ◆ セッション再接続を有効にできません。
- ◆ 接続先が Windows OS(64bit)である場合、システム情報内の OS のエディション名が正常に表示されません。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。
- ◆ Linux OS では、ビデオチャット機能はご利用になれません。

ISL AlwaysOn 4.4.2234.23 for Linux

● 新機能

- ◆ ユーザーがログインしていない端末へアクセスする際に、事前確認をスキップする設定が追加されました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.28.1 に更新しました。
- ◆ 常駐接続時に表示されるタスクトレイ内のアイコンが変更になりました。
- ◆ [セッション終了時にコンピューターをロックする]にチェックを入れると、セッション終了時に常に端末がロックされるようになりました。
- ◆ 「インスタントクローン」など端末の設定が都度初期化される環境では、ISL AlwaysOn を利用できない問題を解消しました。当該環境での利用を検討される場合は、[こちら](#)をご確認ください。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
 - 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。
- ◆ [ファイルボックスを最小化]を選択できません。
- ◆ Linux OS でファイルを受領できない場合、「ファイルマネージャー」機能を使用してください。
- ◆ [ファイルの同期を行う]にチェックをすると正常に転送ができません。チェックせずに転送を行ってください。

● 注意事項

- ◆ 高速接続（接続オプション[Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキストチャット
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。（主にトラブルシューティングで使用します）
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ UI の言語は変更できません。

ISL Conference Proxy 4.4.2044.94 (2022.4.12)

- OpenSSL 脆弱性 (CVE-2022-0778) 対応 -

2022年3月15日に公表された暗号化ソフトウェアライブラリ「OpenSSL」の脆弱性を解消する ISL Conference Proxy をリリースしました。

2022年4月現在保守サポート対象のすべてのバージョンの ISL Conference Proxy が該当しますので、最新版へのアップグレードを行っていただけますようお願いいたします。 ※

アップグレード手順は、[こちら](#)のマニュアルをご参照ください。

※今回の脆弱性に関する対応についての詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

ISL Conference Proxy 4.4.2044.79 (2021.9.30)

ISL Conference Proxy 4.4.2044.79

● 新機能

- ◆ ドメイン管理ダッシュボードを実装しました。
- ◆ ユーザーグループの作成ができるようになりました。
- ◆ Web 会議の登録済ユーザーの設定画面で、登録済ユーザーの削除や詳細の編集ができるようになりました。
- ◆ 常駐端末や端末のグループをユーザーグループに共有できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ レコーディングファイルの自動保存を設定時、保存したファイルを [Activity Monitor]-[Sessions]-[History]からダウンロードできるようになりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、ISL Groop で利用可能なファイル拡張子の初期値を変更しました。(アップグレードした場合、既存の設定値は維持されます)
- ◆ オンラインページから、常駐接続先端末にファイルをアップロードする際に進行状況が表示されるようになりました。
- ◆ Web 会議・セミナー招待メールの送信画面で、文字のフォントサイズを変更できない不具合を解消しました。
- ◆ jQuery の脆弱性 CVE-2020-11023 に対応するため、パッチを適用しました。
- ◆ 常駐接続先端末にアクションを実行する際の不具合を解消しました。
- ◆ SAML 認証利用時の脆弱性を解消しました。
- ◆ Web 会議ページのアクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]が正常に動作しない問題を解消しました。
- ◆ 2 段階認証設定時にユーザーがパスワードを変更できなかった問題を解消しました。
- ◆ オンラインページの履歴画面でエクスポートした CSV ファイルが文字化けする問題を解消しました。
- ◆ ISL AlwaysOn のプッシュアップグレードに関する不具合を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light Desk for Mac
 - ISL Light for Android
 - ISL Light for iOS (バージョン 4.4.2006.36 以前)
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality] (「WOL 送信」 ボタンの非表示) の設定はご利用いただけません。
- ◆ レコーディングファイルの自動保存を設定時に、 [Activity Monitor]-[Sessions]-[Active]のセッション情報内に表示されるファイルはダウンロードできません。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1734 以前から 4.4.1816.71 以降へアップグレードする際に、ISL Light の接続オプション[メインウィンドウを非表示にする]のチェックが入っている場合はチェックが外れます。本オプションをご利用の場合は、再度チェックを入れて接続を開始してください。
- ◆ ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1947.98 以前から 4.4.2044.79 以降へアップグレードする際に、 [Configuration]-[Security]-[Reject passwords from password_blacklist.txt]の設定の内容が引き継がれません。オプション名が[Allow passwords from password_blacklist.txt]に変更されましたので、再度設定を行ってください。

ISL Light 4.4.2031.107 for Windows

● 新機能

- ◆ 常駐接続終了時、リモート端末をロックするか選択できるようになりました。
- ◆ ファイルマネージャーを実装しました。
- ◆ アクティブでないセッションを自動的に終了させられるようになりました。
- ◆ 常駐端末や端末のグループをユーザーグループに共有できるようになりました。
- ◆ ダッシュボードから、招待リンクやコードを利用して常駐接続のセットアップができるようになりました。
- ◆ ダッシュボードから、登録するグループやコンピューター名を指定して常駐接続のセットアップができるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ マルチモニター使用時の不具合を解消しました。
- ◆ 常駐接続の場合でも、[ツール]-[常駐接続をセットアップ]のメニューが表示される問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light 側での発信が終了しません。
- ◆ ISL Light iOS と接続時、ビデオチャット中、ISL Light iOS の内カメラと外カメラの切り替えが正常に動作しません。
- ◆ 接続端末がマルチモニターを使用時に、[ツール]-[画面共有の範囲]からモニターを正しく選択することができません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（SSH 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ オペレーターが Windows 8 以降かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）を持つユーザーで常駐接続を行う場合は、管理者モードおよびセッション再接続が自動で有効になります。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk&Client 4.4.2116.42 for Windows

● 新機能

- ◆ ISL Light のファイルマネージャーに対応しました。(ISL Light Client のみ)

● 変更・修正事項

- ◆ Audio module のカスタマイズ利用時に、ワンタイム接続の開始と同時に音声チャットを開始できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末では、Windows 側のセキュリティ制限によりドライバがインストールできないためブラックスクリーンの機能はご利用いただけません。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降でブラックスクリーンの実行に必要なドライバーのインストール後は、端末のディスプレイの輝度を変更できません (ドライバーのアンインストールを行うことで、再度ディスプレイの輝度を変更できます)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ モバイル端末に対して、Windows のデスクトップ画面共有時に[品質を優先]が有効になりません。

● 注意事項

- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でクライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [設定]-[デスクトップ背景の表示]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 4.4.2031.44 for Windows

● 新機能

- ◆ 常駐接続終了時、リモート端末をロックするか選択できるようになりました。
- ◆ ISL Light のファイルマネージャーに対応しました。
- ◆ アクティブでないセッションを自動的に終了させられるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。

● 注意事項

- ◆ Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 の端末へインストールを行った場合は ISL AlwaysOn 2.2.10 が起動します。
- ◆ サウンドを共有するためには、音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する]は、Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式と併用できません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[ISL Light Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色 (オンライン) の状態で表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ Windows XP および Windows Server 2003、2003 R2 の端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。(詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダ)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。

ISL Groop 4.4.2013.22 for Windows

● 新機能

- ◆ 2段階認証ログインに対応しました。
- ◆ 画面共有時にウィンドウが小窓表示されるようになりました（元のウィンドウは最小化されます）。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
※ISL Conference Proxy 4.4.2044.79 をご利用の場合には、本事象は修正されています。
- ◆ 特定のアプリケーションを選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Pronto 4.4.1932.38 for Windows

● 制限事項

- ◆ クライアントとチャット時に、クライアントの送信前のチャット内容がオペレーター側に正常に表示されません。
- ◆ 文字コードが UTF-8 の.txt ファイルをチャット画面上で送信すると、開いたファイルが文字化けして表示されます。
- ◆ [ファイル]-[設定]-[通知]-[詳細設定]-[全画面表示でアプリケーションが作動している状態]が正常に機能しません。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。

ISL Light 4.4.2031.107 for Mac

● 新機能

- ◆ 常駐接続終了時、リモート端末をロックするか選択できるようになりました。
- ◆ ファイルマネージャーを実装しました。
- ◆ アクティブでないセッションを自動的に終了させられるようになりました。
- ◆ 常駐端末や端末のグループをユーザーグループに共有できるようになりました。
- ◆ ダッシュボードから、招待リンクやコードを利用して常駐接続のセットアップができるようになりました。
- ◆ ダッシュボードから、登録するグループやコンピューター名を指定して常駐接続のセットアップができるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ macOS Big Sur に対応しました。
- ◆ マルチモニター使用時の不具合を解消しました。
- ◆ 常駐接続の場合でも、[ツール]-[常駐接続をセットアップ]のメニューが表示される問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ macOS Catalina 以降では、ビデオチャット機能はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light 側での発信が終了しません。
- ◆ ISL Light iOS と接続時、ビデオチャット中、ISL Light iOS の内カメラと外カメラの切り替えが正常に動作しません。
- ◆ macOS Big Sur からの代替接続（RDP 接続）時は、RDP 接続用クライアント（Parallels Client）を終了してもセッションは終了しません。ISL Light からセッションを終了してください。

- ◆ macOS 端末から Windows 端末にワンタイム接続時、[設定]-[ログ]-[ログの取得(クライアント)]を選択するとエラーが表示されます。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（RDP 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.2031.12 for Mac

● 新機能

- ◆ ISL Light のファイルマネージャーに対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ macOS Big Sur に対応しました。
- ◆ マルチモニター使用時の不具合を解消しました。

● 制限事項

- ◆ macOS Catalina 以降では、ビデオチャット機能はご利用になれません。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ ISL Light Client から音声通話やビデオチャットを発信した際、ISL Light iOS 側で通話を拒否されても ISL Light Client 側での発信が終了しません。
- ◆ ISL Light iOS と接続時、ビデオチャット中、ISL Light iOS の内カメラと外カメラの切り替えが正常に動作しません。
- ◆ 接続端末がマルチモニターを使用時に、[ツール]-[画面共有の範囲]からモニターを正しく選択することができません。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ オンラインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」
 - (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の「ファイル転送」の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値(自動)になっている場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

ISL AlwaysOn 4.4.2031.44 for Mac

● 新機能

- ◆ 常駐接続終了時、リモート端末をロックするか選択できるようになりました。
- ◆ ISL Light のファイルマネージャーに対応しました
- ◆ アクティブでないセッションを自動的に終了させられるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ macOS Big Sur に対応しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
 - 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ macOS Big Sur で [ISL AlwaysOn 設定]-[デスクトップ共有]-[接続オプション]の [接続前に確認を行う] と [セッション開始時にコンピューターをロックする] を同時に有効にすると、常駐接続ができなくなります。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[基本設定]-[共有フォルダーへのアクセス時]が正常に動作しません。

● 注意事項

- ◆ macOS 10.9 以下の場合は、Windows/macOS ユーザーを使用したアクセス認証方式はご利用になれません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[ISL Light Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ UI の言語は変更できません。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしていません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内为空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文

字化けします。

- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。

ISL Groop 4.4.2013.22 for Mac

● 新機能

- ◆ 2段階認証ログインに対応しました。
- ◆ 画面共有時にウィンドウが小窓表示されるようになりました（元のウィンドウは最小化されます）。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ 動作環境が OS X 10.10 (Yosemite) 以降になりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。
- ◆ macOS のユーザーからリモート接続を開始する場合、ISL Light がインストールされている必要があります。（2021.09.30 追記）

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Pronto 4.4.1932.38 for Mac

● 制限事項

- ◆ クライアントとチャット時に、クライアントの送信前のチャット内容がオペレーター側に正常に表示されません。
- ◆ 文字コードが UTF-8 の.txt ファイルをチャット画面上で送信すると、開いたファイルが文字化けして表示されます。

● 注意事項

- ◆ チャットの内容を保存すると、無効な拡張子で保存されます。拡張子を「.html」に変更してファイルを開いてください。
- ◆ メニューの一部が英語で表示されます。

ISL Conference Proxy 4.4.1947.98 (2020.9.29)

ISL Conference Proxy 4.4.1947.98

● 新機能

- ◆ 新モジュール「Backup」を実装しました。(バックアップ取得のプロセスで使用します)
- ◆ ユーザーに2段階認証の設定を強制できるようになりました。
- ◆ セッションコードを全角数字で入力できるようになりました。
- ◆ パスワード条件のユーザーフレンドリーな指定方法を追加しました。
 - [Configuration]-[Security]-[Password]
- ◆ パスワードのブラックリストを追加しました。(一般的または頻繁に利用される文字列が定義されています。ブラックリストに指定されたパスワードは使用できません)
- ◆ 自動レコーディングファイルの保存場所にネットワークストレージが指定できるようになりました。
- ◆ 管理画面にログイン試行回数の規定が適用されるようになりました。
- ◆ 履歴からレコーディングファイルの保存先を確認できるようになりました。
- ◆ 複雑なネットワーク環境に所属する端末に対して Wake On LAN を実行できるようになりました。
- ◆ オペレーターもしくはクライアントでのみアクティブになっているセッションを自動削除できるようになりました。
- ◆ 履歴に表示するデータとして以下の項目が選択できるようになりました。
 - ホスト名 (オペレーター・クライアント)
 - MAC アドレス (オペレーター・クライアント)
- ◆ 削除済みのユーザー、ドメイン、カスタマイズ、履歴などを復元できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ UI デザインをリニューアルしました。
- ◆ [Save]ボタンの表示を画面左下に変更しました。
- ◆ 管理画面内に見出しを追加し、レイアウトを変更しました。
- ◆ jQuery のバージョンを 1.12 に更新しました。
- ◆ Bootstrap のバージョンを 3.4.1 に更新しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2u に更新しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、ブラウザ上で閲覧可能な共有ファイルの拡張子を制限できるようになりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、ISL Groop で利用可能なファイル拡張子の初期値を変更しました。
- ◆ タイムゾーンの設定が「自動検知」の際に OS の時刻を取得するようになりました。

- ◆ 以下のメニューの利用を制限できるようになりました。
 - パスワードを忘れた場合（ログイン画面）
 - このデバイスを登録する（2段階認証ログイン画面）
 - 製品ダウンロードページ（オンラインページ）
- ◆ SSL サーバー証明書の有効期限が短くなった際に通知メールが送信されるようになりました。
- ◆ 以下の操作実行時にダウンロードされるプログラムが ISL Light になりました。
 - 一時停止中のセッションの再開時
 - 別のオペレーターから転送されたセッションへの参加時
 - 別のオペレーターから招待されたセッションへの参加時
- ◆ macOS で一時停止中のセッションの再開・セッション転送・オペレーター招待のアクションに対応できるようになりました。
- ◆ [Activity monitor]-[Sessions]-[History]-[ISL Groop]の検索機能が利用できない問題を解消しました。
- ◆ ISL Conference Proxy 4.4.1816.71 において、[Activity monitor]-[Web hits]の参照に事前設定が必要であった問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light Desk for Mac
 - ISL Light for Android
 - ISL Light for iOS
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality]（「WOL 送信」ボタンの非表示）の設定はご利用いただけません。
- ◆ オンラインページの履歴画面でエクスポートした CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われます（unescape 関数で変換を行うことで日本語で表示できます）。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1734 以前から 4.4.1816.71 以降へアップグレードする際に、ISL Light の接続オプション[メインウィンドウを非表示にする]のチェックが入っている場合はチェックが外れます。本オプションをご利用の場合は、再度チェックを入れて接続を開始してください。

ISL Light 4.4.2011.41 for Windows

● 新機能

- ◆ マルチモニターに対応しました。(接続先に複数のモニターがある場合に接続画面を個々のウィンドウでマルチ表示できます)
- ◆ ウィンドウのサイズ情報が保持されるようになりました。
- ◆ ダッシュボードをキーボードで操作できるようになりました。
- ◆ セッションコードを全角数字で入力できるようになりました。
- ◆ ISL Light 上で常駐接続端末の所有者が変更できるようになりました。
- ◆ 常駐接続端末のタグアイコンから端末が検索できるようになりました。
- ◆ グループに属する常駐接続端末にフォルダーアイコンが表示されるようになりました。
- ◆ ISL Light 設定に以下の設定を追加しました。
 - ネットワーク切断時の画面ロック
 - [ESC]キー押下時のブラックスクリーン解除時間の調整
- ◆ オペレーターの招待やセッション転送を Email で行う際に専用のダイアログが起動するようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ツールバーのアイコンおよび表示メニューをリニューアルしました。
- ◆ 「画質」の選択メニューの名称をユーザーフレンドリーなものに変更しました。
- ◆ [半角/全角]キーのみで接続先の入力言語が切り替えられるようになりました。
- ◆ レコーディング停止時に再生の確認ダイアログが表示されるようになりました。
- ◆ コンピューターおよびグループ共有時のユーザー選択画面に、ユーザーの氏名 (Full name) が表示されるようになりました。
- ◆ 「ワンタイム」タブのアクションからオペレーター招待時やセッション転送時の URL をコピーできるようになりました。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降におけるブラックスクリーンの方式を変更しました。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末に対してブラックスクリーンが実行できるようになりました。
- ◆ 一部の環境で、マウスカーソルが黒い四角で表示される問題を解消しました。
- ◆ 複数のディスプレイを持つ端末に接続を行った場合に正しいモニターが選択できない問題を解消しました。
- ◆ キーボード設定が「リモートの IME を優先」の際に[クリップボードのテキストを入力]が利用できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ 常駐接続の場合でも、[ツール]-[常駐接続をセットアップ]のメニューが表示されます（選択しても何も起こりません）。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（SSH 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ オペレーターが Windows 8 以降かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）を持つユーザーで常駐接続を行う場合は、管理者モードおよびセッション再接続が自動で有効になります。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。

- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk&Client 4.4.1906.34 for Windows

● 新機能

- ◆ セッションコードを全角数字で入力できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ 一部の環境で、マウスカーソルが黒い四角で表示される問題を解消しました。
- ◆ マウスカーソルをアイコンに重ねた際に表示される「ツールチップ」が見切れる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート（バージョン 1607 : Anniversary Update）以降に初期インストールされた端末では、Windows 側のセキュリティ制限によりドライバがインストールできないためブラックスクリーンの機能はご利用いただけません。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降でブラックスクリーンの実行に必要なドライバーのインストール後は、端末のディスプレイの輝度を変更できません（ドライバーのアンインストールを行うことで、再度ディスプレイの輝度を変更できます）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でクライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [設定]-[デスクトップ背景の表示]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 4.4.1950.35 for Windows

● 新機能

- ◆ タスクトレイアイコンのツールチップに以下の情報を追加しました。
 - ①プログラムのバージョン ②コンピューター名 ③通称 ④IP アドレス
- ◆ ISL AlwaysOn 設定に以下の設定を追加しました。
 - セッション終了時の画面ロック
 - ネットワーク切断時の画面ロック
 - [ESC]キー押下時のブラックスクリーン解除時間の調整

● 変更・修正事項

- ◆ 接続時の確認メッセージが最前面に表示されるようになりました。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降におけるブラックスクリーンの方式を変更しました。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート（バージョン 1607 : Anniversary Update）以降に初期インストールされた端末に対してブラックスクリーンが実行できるようになりました。
- ◆ 一部の環境で、マウスカーソルが黒い四角で表示される問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Windows のログオフ動作が正常に完了しない問題を解消しました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定が正常に動作しない問題を解消しました。
- ◆ デスクトップ背景が非表示の接続において、端末の再起動中にセッションを終了すると背景が元に戻らない不具合を解消しました。

● 制限事項

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。

● 注意事項

- ◆ Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 の端末へインストールを行った場合は ISL AlwaysOn 2.2.10 が起動します。
- ◆ サウンドを共有するためには、音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する]は、Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式と併用できません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[ISL Light Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色 (オンライン) の状態で表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ Windows XP および Windows Server 2003、2003 R2 の端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。(詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダ)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。

ISL Groop 4.4.2013.22 for Windows

● 新機能

- ◆ 2段階認証ログインに対応しました。
- ◆ 画面共有時にウィンドウが小窓表示されるようになりました（元のウィンドウは最小化されます）。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
- ◆ 特定のアプリケーションを選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 4.4.2011.41 for Mac

● 新機能

- ◆ マルチモニターに対応しました。(接続先に複数のモニターがある場合に接続画面を個々のウィンドウでマルチ表示できます)
- ◆ ウィンドウのサイズ情報が保持されるようになりました。
- ◆ ダッシュボードをキーボードで操作できるようになりました。
- ◆ セッションコードを全角数字で入力できるようになりました。
- ◆ ISL Light 上で常駐接続端末の所有者が変更できるようになりました。
- ◆ 常駐接続端末のタグアイコンから端末が検索できるようになりました。
- ◆ グループに属する常駐接続端末にフォルダーアイコンが表示されるようになりました。
- ◆ ISL Light 設定に以下の設定を追加しました。
 - ネットワーク切断時の画面ロック
- ◆ オペレーターの招待やセッション転送を Email で行う際に専用のダイアログが起動するようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ツールバーのアイコンおよび表示メニューをリニューアルしました。
- ◆ 「画質」の選択メニューの名称をユーザーフレンドリーなものに変更しました。
- ◆ レコーディング停止時に再生の確認ダイアログが表示されるようになりました。
- ◆ コンピューターおよびグループ共有時のユーザー選択画面に、ユーザーの氏名 (Full name) が表示されるようになりました。
- ◆ 「ワンタイム」タブのアクションからオペレーター招待時やセッション転送時の URL をコピーできるようになりました。
- ◆ 複数のディスプレイを持つ端末に接続を行った場合に正しいモニターが選択できない問題を解消しました。
- ◆ キーボード設定が「リモートの IME を優先」の際に[クリップボードのテキストを入力]が利用できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 常駐接続の場合でも、[ツール]-[常駐接続をセットアップ]のメニューが表示されます（選択しても何も起こりません）。
- ◆ macOS Catalina では、ビデオチャット機能はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（RDP 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.2011.9 for Mac

● 新機能

- ◆ セッションコードを全角数字で入力できるようになりました。
- ◆ ISL Light 設定に以下の設定を追加しました。
 - ネットワーク切断時の画面ロック

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ オンラインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」
 - (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の「ファイル転送」の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値(自動)になっている場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

ISL AlwaysOn 4.4.1950.37 for Mac

● 新機能

- ◆ タスクトレイアイコンのツールチップに以下の情報を追加しました。
 - ①プログラムのバージョン ②コンピューター名 ③通称 ④IP アドレス
- ◆ ISL AlwaysOn 設定に以下の設定を追加しました。
 - セッション終了時の画面ロック
 - ネットワーク切断時の画面ロック

● 変更・修正事項

- ◆ 動作環境が OS X 10.9 (Mavericks) 以降になりました。
- ◆ 接続時の確認メッセージが最前面に表示されるようになりました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定が正常に動作しない問題を解消しました。
- ◆ デスクトップ背景が非表示の接続において、端末の再起動中にセッションを終了すると背景が元に戻らない不具合を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード (*) を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
 - 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。

● 注意事項

- ◆ macOS 10.9 以下の場合は、Windows/macOS ユーザーを使用したアクセス認証方式はご利用になれません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[ISL Light Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC) が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色 (オンライン) の状態が表示されます。
- ◆ UI の言語は変更できません。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文

字化けします。

- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。

ISL Groop 4.4.2013.22 for Mac

● 新機能

- ◆ 2段階認証ログインに対応しました。
- ◆ 画面共有時にウィンドウが小窓表示されるようになりました（元のウィンドウは最小化されます）。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ 動作環境が OS X 10.10 (Yosemite) 以降になりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。

● 制限事項

- ◆ アンケート機能は、登録フォーム機能と併用できません。
- ◆ アクション欄の[編集]-[詳細設定を開く]-[他のユーザーがセッションを開始した際、オーナーに Email で通知する]はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。

● 注意事項

- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Conference Proxy 4.4.1816.71 (2019.2.27)

ISL Conference Proxy 4.4.1816.71

● 新機能

- ◆ SMTP の通信方式に STARTTLS が選択できるようになりました。
- ◆ ISL Online 上で使用するサーバー名 (DNS 名もしくは IP アドレス) および管理者ページ上部の背景色を変更できるようになりました。
 - [Configuration]-[General]-[Installation name: / Title background color:]
- ◆ サブ管理者 (管理者以外で管理者ページへログイン可能なアカウント) の作成ができるようになりました。
- ◆ アクティビティログ (管理者やユーザーのログイン、操作履歴) が記録できるようになりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、ISL Groop で利用可能なファイル拡張子を制限できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2p に更新しました。
- ◆ ユーザーおよびドメインの削除時に、そのデータに紐づく関連データを同時に削除する確認メッセージが表示されるようになりました。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、以下のプログラムが起動できなくなります。
 - ISL Light Desk for Mac
 - ISL Light Android
 - ISL Light iOS
- ◆ [Activity monitor]-[Sessions]-[History]-[ISL Groop]の検索機能はご利用いただけません。
- ◆ [Configuration]-[ISL AlwaysOn]-[Hide WakeOnLan functionality] (「WOL 送信」ボタンの非表示) の設定はご利用いただけません。
- ◆ [Activity monitor]-[Web hits]を参照する場合は、あらかじめ設定を行う必要があります。

● 注意事項

- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット ([すべてのプログラム]-[ISL Conference Proxy]-[Reset admin password]) 実行後は、手動で ISL Conference Proxy サーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ 以前のバージョンから ISL Conference Proxy をバージョン 4.4.1816.71 へアップグレードする際に、ISL Light の接続オプション[メインウィンドウを非表示にする]のチェックが入っている場合はチェックが外れます。本オプションをご利用の場合は、再度チェックを入れて接続を開始してください。
- ◆ オンラインページのダウンロード画面で取得できる ISL Groop Android はサポート対象外です。
- ◆ オンラインページの履歴画面でエクスポートした CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われます (unescape 関数で変換を行うことで日本語で表示できます)。

ISL Light 4.4.1823.48 for Windows

● 新機能

- ◆ ISL Light 上から RDP 接続、SSH 接続によるセッションを実行できるようになりました。
- ◆ Windows OS への常駐接続時に、サウンドが共有できるようになりました。
- ◆ 常駐接続のグループを共有する際に権限を設定できるようになりました。
- ◆ 以下のアクションが利用できるようになりました。
 - ISL AlwaysOn アップグレード
 - Wake On LAN 送信
 - パスワードを変更
 - シャットダウン
- ◆ コンピューターの追加時に、追加するグループを指定できるようになりました。
- ◆ ワンタイム接続中に ISL AlwaysOn をインストールできるようになりました。
- ◆ アクセスパスワードの代わりに ISL AlwaysOn をインストールした端末の Windows/macOS ユーザーを使用して常駐接続を開始できるようになりました。
- ◆ 常駐接続の端末一覧に IP アドレスおよび最終オンライン時刻が表示できるようになりました。
- ◆ 操作端末が常駐接続の端末一覧に存在する場合、[このコンピューターを表示]が選択できるようになりました。
- ◆ テキストチャット受信時にタスクバーのアイコンが点滅するようになりました（オペレーターとして利用する場合のみ）。
- ◆ 画面共有時に[ツール]-[デスクトップドライバ]が選択できるようになりました。
- ◆ テキストチャット上で[クリア][コピー][テキストエディターで開く]が選択できるようになりました。
- ◆ [設定]-[レコーディング]-[レコーディングファイルのテンプレート名]にクライアント端末のコンピューター名を含められるようになりました。
- ◆ [設定]-[基本設定]でフォントスムージング（アンチエイリアシング）の有効/無効が設定できるようになりました。
- ◆ プロキシ自動構成（PAC）ファイルをファイルパス（file://）で指定できるようになりました（ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能）。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ 接続先への文字入力時、優先する入力言語を自動で選択するようになりました。
- ◆ [設定]内に見出しを追加し、レイアウトを変更しました。
- ◆ 接続オプションの並び順を変更しました。
- ◆ 接続オプション「利用中の RDP のセッションへ接続する」による RDP のセッションへの接続時は、

[ツール]-[管理者モード]内の再起動メニューが使用できなくなりました。

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]の翻訳を削除しました。
- ◆ クリップボードの仕様を変更し、[キーボード]-[クリップボードのテキストを入力]を追加しました。
- ◆ [設定]-[一般]-[実行中のセッション]の項目を削除しました。
- ◆ [ファイル転送]および[ツール]ボタン上にツールチップが表示されない問題を解消しました。
- ◆ クライアントが ISL Light からワнтаム接続を行った場合に管理者モードが利用できない問題を解消しました。
- ◆ ツールバー内[画質]のアイコンを変更しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ 複数のディスプレイを持つ端末に接続を行った場合、正しいモニターが選択できません。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワнтаム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません（メッセージが表示されますが続けて入力できます）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。（2019.05.10 追記）

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（SSH 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ ワнтаム接続中に ISL AlwaysOn をインストールする際にタグは設定できません。

- ◆ ファイル転送によるファイル・フォルダーの置き換え（上書き）はできません。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを[Ctrl]+[Esc]のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ オペレーターが Windows 8 以降かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）を持つユーザーで常駐接続を行う場合は、管理者モードおよびセッション再接続が自動で有効になります。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][品質を優先][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用になれません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk&Client 4.4.1823.16 for Windows

● 新機能

- ◆ プロキシ自動構成 (PAC) ファイルをファイルパス (file://) で指定できるようになりました (ISL AlwaysOn での設定値が読み込み可能)。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.7 に更新しました。
- ◆ 一部の環境で、ISL Light ウィンドウ上や Windows タスクバー上にペンツールが描画できない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、複数のアプリケーションを起動している場合にクリップボードが利用できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。
- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末では、Windows 側のセキュリティ制限によりドライバがインストールできないためブラックスクリーンの機能はご利用いただけません。
- ◆ Windows 8 以降、Windows Server 2012 以降でブラックスクリーンの実行に必要なドライバーのインストール後は、端末のディスプレイの輝度を変更できません (ドライバーのアンインストールを行うことで、再度ディスプレイの輝度を変更できます)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

● 注意事項

- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でクライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows OS への接続時に、フルスクリーンへの切り替えを [Ctrl]+[Esc] のショートカットキーで行う場合はスタート画面も同時に起動します。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [設定]-[デスクトップ背景の表示] は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用

用になれます。

- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 4.4.1823.32 for Windows

● 新機能

- ◆ 以下の機能を使用するための設定項目が追加されました。
 - トンネル接続（RDP 接続/SSH 接続）による端末へのアクセス
 - ISL AlwaysOn をインストールした端末の Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式
- ◆ オペレーターへサウンドが共有できるようになりました。
- ◆ 常駐接続のグループが共有できるようになりました。
- ◆ オンラインページ上で常駐接続端末の所有者が変更できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のために、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。
- ◆ 新しく追加したコンピューターが端末一覧（常駐接続）の一番上に表示されるようになりました。
- ◆ オペレーターの追加時に、許可内容の詳細（認証方式など）をダイアログで確認できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時（UTC）が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード（*）を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます（IP アドレスでフィルタを設定する必要があります）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。（2019.05.10 追

記)

● 注意事項

- ◆ Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 の端末へインストールを行った場合は ISL AlwaysOn 2.2.10 が起動します。
- ◆ サウンドを共有するためには、音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する]は、Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式と併用できません。
- ◆ 高速接続（接続オプション[ISL Light Client を利用する]がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。（主にトラブルシューティングで使用します）
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ Windows XP および Windows Server 2003、2003 R2 の端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。(詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダ)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Groop 4.3.0 for Windows

● 新機能

- ◆ Microsoft PowerPoint 2016 に対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 認証済ユーザーだけを Web 会議に参加させる機能が正常に動作しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Web セミナーの「登録フォーム」「アンケートの作成」はご利用いただけません。
- ◆ 画面共有時の「アプリケーション共有」機能はご利用いただけません。
- ◆ アクション欄の「編集」>「詳細設定を開く」>「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 4.4.1823.48 for Mac

● 新機能

- ◆ ISL Light 上から RDP 接続、SSH 接続によるセッションを実行できるようになりました。
- ◆ Windows OS への常駐接続時に、サウンドが共有できるようになりました。
- ◆ 常駐接続のグループを共有する際に権限を設定できるようになりました。
- ◆ 以下のアクションが利用できるようになりました。
 - ISL AlwaysOn アップグレード
 - Wake On LAN 送信
 - パスワードを変更
 - シャットダウン
- ◆ コンピューターの追加時に、追加するグループを指定できるようになりました。
- ◆ ワンタイム接続中に ISL AlwaysOn をインストールできるようになりました。
- ◆ アクセスパスワードの代わりに ISL AlwaysOn をインストールした端末の Windows/macOS ユーザーを使用して常駐接続を開始できるようになりました。
- ◆ 常駐接続の端末一覧に IP アドレスおよび最終オンライン時刻が表示できるようになりました。
- ◆ 操作端末が常駐接続の端末一覧に存在する場合、[このコンピューターを表示]が選択できるようになりました。
- ◆ 画面共有時に[ツール]-[デスクトップドライバー]が選択できるようになりました。
- ◆ テキストチャット上で[クリア][コピー][テキストエディターで開く]が選択できるようになりました。
- ◆ [設定]-[レコーディング]-[レコーディングファイルのテンプレート名]にクライアント端末のコンピューター名を含められるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ [設定]内に見出しを追加し、レイアウトを変更しました。
- ◆ 接続オプションの並び順を変更しました。
- ◆ 接続オプション「利用中の RDP のセッションへ接続する」による RDP のセッションへの接続時は、[ツール]-[管理者モード]内の再起動メニューが使用できなくなりました。
- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]の翻訳を削除しました。
- ◆ クリップボードの仕様を変更し、[キーボード]-[クリップボードのテキストを入力]を追加しました。
- ◆ [設定]-[一般]-[実行中のセッション]の項目を削除しました。
- ◆ [ファイル転送]ボタン上にツールチップが表示されない問題を解消しました。
- ◆ クライアントが Windows OS で ISL Light からワンタイム接続を行った場合に管理者モードが利用できない問題を解消しました。

- ◆ クリップボードに日本語をコピーして ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行う場合に、[クリップボードのテキストを入力]を利用することで文字化けが発生しなくなりました。
- ◆ ツールバー内[画質]のアイコンを変更しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ フィルタリングによって代替接続が開始できなかった際に、ISL Light のセッションが残る場合があります（ワンタイム画面から該当のセッションを中止してください）。
- ◆ オンラインページより常駐接続を開始する際に[パスワードを保存する]を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません（メッセージが表示されますが続けて入力できます）。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。（2019.05.10 追記）

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを有している必要があります。
- ◆ 代替接続（RDP 接続）をご利用になるには、事前に専用プログラムをインストールする必要があります。
- ◆ 代替接続によるネットワークプリンターの利用で印刷処理を連続して行う場合、ネットワーク状態などで処理の完了に時間を要する場合があります。
- ◆ ワンタイム接続中に ISL AlwaysOn をインストールする際にタグは設定できません。
- ◆ ファイル転送によるファイル・フォルダーの置き換え（上書き）はできません。
- ◆ Windows OS への接続時に、ISL Light のウィンドウをスタート画面上に表示することはできません。
- ◆ [Ctrl + Alt + Del][Win + L][Win + R]は、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [ブラックスクリーンを有効にする][利用中の RDP のセッションへ接続する][品質を優先][トータルコントロールを有効にする]の接続オプションは、クライアントが Windows OS の場合のみ実行できます。
- ◆ [設定]-[基本設定]-[画面共有時にデスクトップ背景を表示する]は接続先が Windows OS かつ ISL Light Client を使用する場合のみご利用いただけます。
- ◆ セッション転送およびオペレーターの招待は、セッションの転送先が Windows OS の場合のみご利用になれます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、[セッション再接続を利用]はご利用

用になれません。

- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Client 4.4.1823.8 for Mac

● 新機能

- ◆ テキストチャット上で[クリア][コピー][テキストエディターで開く]が選択できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ [設定]内に見出しを追加し、レイアウトを変更しました。
- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]の翻訳を削除しました。
- ◆ [設定]-[一般]-[実行中のセッション]の項目を削除しました。
- ◆ [ツール]ボタン上にツールチップが表示されない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、複数のアプリケーションを起動している場合にクリップボードが利用できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用になれません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

● 注意事項

- ◆ [設定]-[詳細設定]および[プレビュー]はサポート対象外です。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ オンラインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」
 - (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の「ファイル転送」の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値(自動)になっている場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

ISL AlwaysOn 4.4.1823.32 for Mac

● 新機能

- ◆ 以下の機能を使用するための設定項目が追加されました。
 - トンネル接続（RDP 接続/SSH 接続）による端末へのアクセス
 - ISL AlwaysOn をインストールした端末の Windows/macOS ユーザーによるアクセス認証方式
 - 常駐接続開始時のコンピューターロック
- ◆ 常駐接続のグループが共有できるようになりました。
- ◆ オンラインページ上で常駐接続端末の所有者が変更できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のために、2048 ビット RSA 暗号鍵に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、mbedTLS のバージョンを 2.7.9 に更新しました。
- ◆ 新しく追加したコンピューターが端末一覧（常駐接続）の一番上に表示されるようになりました。
- ◆ オペレーターの追加時に、許可内容の詳細（認証方式など）をダイアログで確認できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[接続方式]-[詳細設定]-[HTTP PAC]はサポート対象外です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時（UTC）が適用されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ IP アドレス、タグの後方一致による常駐接続のコンピューター検索では、検索文字列の前にワイルドカード（*）を付ける必要があります。
- ◆ [アクション]-[共有ファイル]には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。

- [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート (パスワード付)」の共有ファイルにのみ適用されます (IP アドレスでフィルタを設定する必要があります)。
- 一部の OS では、ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合に日本語部分が文字化けします。

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

● 注意事項

- ◆ macOS 10.9 以下の場合、Windows/macOS ユーザーを使用したアクセス認証方式はご利用になれません。
- ◆ 高速接続 (接続オプション[ISL Light Client を利用する]がオフになっている状態) で接続を行った場合は、以下の機能はご利用になれません。
 - テキスト、音声、ビデオチャット
 - 遠隔プリント
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[プレビュー]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色 (オンライン) の状態で表示されます。
- ◆ UI の言語は変更できません。

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしていません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文

字化けします。

- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル（.isr）は再生できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。（2019.05.10 追記）

ISL Conference Proxy 4.4.1734 (2018.3.23)

※注意 (2018.6.15)

ISL Light Desk&Client は 2018 年 4 月 17 日に「4.4.1737.11」から「4.4.1737.24」に、
ISL AlwaysOn は 2018 年 6 月 15 日に「4.4.1746.22」から「4.4.1746.27」にマイナーバージョンアップを行っております。

2018 年 3 月 23 日～6 月 14 日の間に ISL Conference Proxy のバージョンアップを行っている場合は最新版のモジュール関連 ZIP を取得して、再度 ISL Conference Proxy のバージョンアップを行うよう推奨しております。

ISL Conference Proxy 4.4.1734

● 新機能

- ◆ 新モジュール「Core Login」を実装しました。(2 段階認証のログインプロセスで使用します)
- ◆ オンラインページの「セキュリティ」で 2 段階認証 (Email、認証アプリ) の設定が可能になりました。
- ◆ モバイル (iOS、Android) 版のロゴ画像などをカスタマイズできるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2m に更新しました。
- ◆ オンラインページの製品およびログイン画面のテンプレートを旧バージョンに変更する設定を削除しました。
- ◆ General > Login enabled の設定の名称 (表記) を「Local override」から「Local default」に変更しました。
- ◆ オンラインページの「常駐接続」に関する以下の設定がご利用いただけるようになりました。
 - Configuration > ISL AlwaysOn > User can use actions functionality
(パスワード変更、システム情報、EXE 実行、シャットダウン、再起動のアクションの禁止/許可)
 - Configuration > ISL AlwaysOn > User can use files functionality
(共有ファイルへのアクセス禁止/許可)
- ◆ Configuration > ISL AlwaysOn > Allow connect to existing computer session (接続オプション「RDP 接続を有効にする」の非表示) の設定がご利用いただけるようになりました。
(AlwaysOn 4.4.1746.27)

● 制限事項

- ◆ 2段階認証の方法として電話（SMS）およびセキュリティキーはご利用いただけません。
- ◆ 認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、Mac 端末で ISL Light Desk が起動できなくなります。
- ◆ Configurarion > ISL AlwaysOn > Hide WakeOnLan functionality（「WOL 送信」ボタンの非表示）の設定はご利用いただけません。
- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット（すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」）実行後は、手動で ISL Conference Proxy サーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ オンラインページの「ダウンロード」で取得できる「ISL Light Client Windows 10 Mobile」「ISL Groop Android」「ISL WebStart」はサポート対象外です。
- ◆ プロダクトログインページの履歴から[エクスポート]ボタンで出力した CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われます。（unescape 関数で変換を行うことで、日本語で表示できます）

ISL Light 4.4.1721 for Windows

● 新機能

- ◆ Email、認証アプリを使用した 2 段階認証ログインに対応しました。
- ◆ カメラおよび音声を使用したチャットができるようになりました。
- ◆ セッション開始後、画面共有を行う際に共有範囲・アプリ・モニタの指定ができるようになりました。
- ◆ 接続中の Windows PC に対し、セッションを終了せずに別のオペレーターを招待できるようになりました。(同時接続が 2 本以上可能なライセンスを保有している必要があります)
- ◆ 「ワнтаイム」画面を非表示にできるようになりました。
- ◆ 「設定」>「一般」>「ダッシュボード」で、ログイン直後の画面（ワнтаイム、常駐）を選択できるようになりました。
- ◆ 「設定」>「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」が利用できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ 常駐接続の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件が適用されない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、異なる解像度の複数モニタを使用している際にホワイトボードのマーカーが画面の一部にしか書き込めなくなる問題を解消しました。
- ◆ 「設定」>「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」の機能が利用できるようになりました。
- ◆ 「設定」内に「プレビュー」を追加し、2 段階認証などの設定を「詳細設定」から移動しました。(プレビュー機能はサポート対象外です。主にトラブルシューティングの際に使用します。)
- ◆ 接続先への文字入力時、接続元の入力言語が「半角英数」の場合のみ入力可能な仕様に変更しました。(2018.5.10)

● 制限事項

- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 設定 > 「詳細設定」および「プレビュー」はサポート対象外です。
- ◆ クライアントが ISL Light からワнтаイム接続を行った場合、管理者モードはご利用いただけません。
- ◆ 複数のディスプレイを持つ端末に常駐接続を行った場合、正しいモニタが選択できません。
- ◆ 常駐（高速接続）で Mac 端末に接続後、ファイル転送で送信したフォルダの置き換え（上書き）はできません。
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 以上、ISL AlwaysOn 2.2.3 以上を利用中) の場合、ファイ

ル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。

- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- ◆ オペレーター PC の OS が Windows 8、8.1、10 でかつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ ログインページの「常駐接続」で「接続」をクリックした後に「パスワードを保存する」を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ セッション転送およびオペレーター招待は、セッションの転送先が Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はございません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。（2018.11.08 追記）
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。（2018.12.17 追記）
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。（2019.05.10 追記）
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

ISL Light Desk&Client 4.4.1737.24 for Windows

● 新機能

- ◆ Email、認証アプリを使用した 2 段階認証ログインに対応しました。
- ◆ Mac PC のクライアントに対してカメラおよび音声を使用したチャットができるようになりました。
- ◆ チャットテキストをメインウィンドウ上からテキストエディタで開けるようになりました。
- ◆ ツールバーからオペレーター招待が実行できるようになりました。
- ◆ セッションコード入力直後から「開始時に確認画面を表示しない」のチェックボックスを有効にできるようになりました。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、2012 R2、2016 に対してブラックスクリーンが実行できるようになりました。(実行先の PC に専用のドライバをインストール必要があります)
- ◆ 「設定」>「デスクトップ共有」でフォントスムージング (アンチエイリアシング) の有効/無効が設定できるようになりました。(4.4.1737.24)

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が Windows 7 以上になりました。(Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 では ISL Light Desk/Client 4.0.5 が起動します)
- ◆ 録画したファイルを ISL Player で再生すると、カメラ映像 (ビデオチャットの画面) が上下反転する問題を解消しました。
- ◆ 回線速度が遅い環境またはポート 7615 が開放されていない一部の環境で、常駐接続 (ISL AlwaysOn) のメインウィンドウからクライアントに接続できない問題を解消しました。(4.4.1737.24)
- ◆ Windows の端末に対して、初期設定でフォントスムージング (アンチエイリアシング) が有効の状態ですべてデスクトップ共有が実行されるようになりました。(4.4.1737.24)

● 制限事項

- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でオペレーターが ISL Light Desk、クライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません (ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。)

- ◆ Windows 10 の大型アップデート (バージョン 1607 : Anniversary Update) 以降に初期インストールされた端末では、Windows 側のセキュリティ制限によりドライバがインストールできないためブラックスクリーンの機能はご利用いただけません。(2018.5.17)
- ◆ セッション転送およびオペレーター招待は、セッションの転送先が Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。(2018.12.17 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL AlwaysOn 4.4.1746.27 for Windows

● 新機能

- ◆ サーバーへの定期通信を行わない「オンデマンドモード」がご利用いただけるようになりました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]で範囲指定で IP アドレスのフィルタリングが設定できるようになりました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定]に「Show Flags」の機能を追加しました。
- ◆ 右クリックによるファイル共有のメニュー表示が禁止できるようになりました。(4.4.1746.27)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[HTTP pac]で、プロキシ自動構成 (PAC) ファイルをパス指定できるようになりました。(4.4.1746.27)

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が Windows 7 以上になりました。(Windows XP、Vista および Windows Server 2003、2003 R2、2008 の端末へインストールを行った場合は ISL AlwaysOn 2.2.10 が起動します)
- ◆ メインウィンドウから「マイコンピューター」タブを削除しました。(常駐接続を行う際は ISL Light をご利用ください)
- ◆ メインウィンドウおよび設定画面から「ウィンドウサイズの最大化」ボタンを削除しました。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限を 1MB に設定しました。
- ◆ ユーザー名およびパスワードによるオペレーターの登録機能を削除しました。([ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [リモートユーザー]ではインビテーションコードによる登録が可能です)
- ◆ セキュリティ強化のため、[ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定]で指定した HTTP proxy、HTTP User、HTTP password の値を暗号化してレジストリに保持するようになりました。
- ◆ 一部の環境でプログラムがクラッシュする問題を解消するため、ログオン時のプロセス起動タイミングを変更しました。(4.4.1746.27)

● 制限事項

- ◆ 接続オプション「品質を優先する」および「トータルコントロールを有効にする」は、「RDP 接続を有効にする」と同時に利用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [接続] > [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC)

が適用されます。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [Show Flags]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の Mac アドレスを制限することはできません。(2018.11.08 追記)
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます。
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Windows

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ Windows XP および Windows Server 2003、2003 R2 の端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。(詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の Mac アドレスを制限することはできません。(2018.11.08 追記)
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダ)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。(2018.11.08 追記)

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Groop 4.3.0 for Windows

● 新機能

- ◆ Microsoft PowerPoint 2016 に対応しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 認証済ユーザーだけを Web 会議に参加させる機能が正常に動作しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Web セミナーの「登録フォーム」「アンケートの作成」はご利用いただけません。
- ◆ 画面共有時の「アプリケーション共有」機能はご利用いただけません。
- ◆ アクション欄の「編集」>「詳細設定を開く」>「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 4.4.1721 for Mac

● 新機能

- ◆ macOS High Sierra に対応しました。
- ◆ Email、認証アプリを使用した 2 段階認証ログインに対応しました。
- ◆ カメラおよび音声を使用したチャットができるようになりました。
- ◆ 「ワнтаイム」画面を非表示にできるようになりました。
- ◆ 「設定」>「一般」>「ダッシュボード」で、ログイン直後の画面（ワнтаイム、常駐）を選択できるようになりました。
- ◆ 接続中の Windows PC に対し、セッションを終了せずに別のオペレーターを招待できるようになりました。（同時接続が 2 本以上可能なライセンスを保有している必要があります）
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、2012 R2、2016 に対してブラックスクリーンが実行できるようになりました。（実行先の PC に専用のドライバをインストールする必要があります）

● 変更・修正事項

- ◆ 常駐接続の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件が適用されない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、異なる解像度の複数モニタを使用している際にホワイトボードのマーカーが画面の一部にしか書き込めなくなる問題を解消しました。
- ◆ 「設定」内に「プレビュー」を追加し、2 段階認証などの設定を「詳細設定」から移動しました。（プレビュー機能はサポート対象外です。主にトラブルシューティングの際に使用します。）

● 制限事項

- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送はご利用いただけません。
- ◆ 設定>「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」はご利用いただけません。
- ◆ 設定>「詳細設定」および「プレビュー」はサポート対象外です。
- ◆ クライアントが Windows PC で ISL Light からワнтаイム接続を行った場合、管理者モードはご利用いただけません。
- ◆ 常駐（高速接続）で Mac 端末に接続後、ファイル転送で送信したフォルダの置き換え（上書き）はできません。
- ◆ クライアントが Mac（ISL Light 4.0.4 以上、ISL AlwaysOn 2.2.3 以上を利用中）の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。

- ◆ 「Ctrl + Alt + Del の送信」「Win + L」「Win + R」はクライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「品質を優先する」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、クライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ クリップボードが有効の場合、日本語をクリップボードで保存して ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行うと文字化けが発生します。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。(メッセージが表示されますが続けて入力できます)
- ◆ オンラインページの「常駐接続」で「接続」をクリックした後に「パスワードを保存する」を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- ◆ セッション転送およびオペレーター招待は、セッションの転送先が Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light の常駐接続の制限事項は、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

ISL Light Client 4.4.1721.10 for Mac

● 新機能

- ◆ macOS High Sierra に対応しました。
- ◆ Email、認証アプリを使用した 2 段階認証ログインに対応しました。
- ◆ カメラおよび音声を使用したチャットができるようになりました。
- ◆ ツールバーからオペレーター招待が実行できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ 2 段階認証ログインで使用する認証アプリは Google Authenticator のみサポート対象です。
- ◆ 携帯電話のショートメッセージサービス (SMS)、セキュリティキーを使用した 2 段階認証ログインはサポート対象外です。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送には対応していません。
- ◆ クリップボードが有効の場合、日本語をクリップボードで保存して ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行うと文字化けが発生します。
- ◆ セッション転送およびオペレーター招待は、セッションの転送先が Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ オンラインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」
 - (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の「ファイル転送」の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値(自動)になっている場合は、エラーメッセージが表示されます(※2)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター (ワンタイム接続に関する質問) ページをご参照ください。

ISL AlwaysOn 4.4.1746.27 for Mac

● 新機能

- ◆ サーバーへの定期通信を行わない「オンデマンドモード」がご利用いただけるようになりました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]で範囲指定で IP アドレスのフィルタリングが設定できるようになりました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定]に「Show Flags」の機能を追加しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が Mac OS X 10.8 (Mountain Lion) 以上になりました。
- ◆ メインウィンドウから「マイコンピューター」タブを削除しました。(常駐接続を行う際は ISL Light をご利用ください)
- ◆ メインウィンドウおよび設定画面から「ウィンドウサイズの最大化」ボタンを削除しました。
- ◆ クリップボードにコピーできるテキストデータの上限を 1MB に設定しました。
- ◆ ユーザー名およびパスワードによるオペレーターの登録機能を削除しました。([ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [リモートユーザー]ではインビテーションコードによる登録が可能です)
- ◆ セキュリティ強化のため、[ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定]で指定した HTTP proxy、HTTP User、HTTP password の値を暗号化してファイルに保持するようになりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、インストーラー (.dmg ファイル) にデジタル署名が付与されました。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [接続] > 「コネクションテスターを起動」がご利用いただけるようになりました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [接続] > [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [接続] > [詳細設定] > [wininet-https]および[wininet-http]は表示されません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポート対象外です。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [履歴]をエクスポートした場合、時間に協定世界時 (UTC)

が適用されます。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [Show Flags]はサポート対象外です。(主にトラブルシューティングで使用します)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の Mac アドレスを制限することはできません。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」には、以下の制限事項がございます。
 - 共有されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
 - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
 - 共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
 - [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート（パスワード付）」の共有ファイルにのみ適用されます。
 - ダウンロードしたファイルの名称に日本語が含まれる場合、日本語部分が文字化けします。
- ◆ オンデマンドモードで起動中の端末は、オンラインページで常に緑色（オンライン）の状態が表示されます。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL AlwaysOn 2.2.10 for Mac

● 新機能

- ◆ 今回のバージョンでの新機能はございません。

● 変更・修正事項

- ◆ 今回のバージョンでの変更・修正事項はございません。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の Mac アドレスを制限することはできません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしていません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ オンラインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文

字化けします。

- ◆ オンラインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Conference Proxy 4.3.9 (2017.5.10)

ISL Conference Proxy 4.3.9

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
(「ダウンロード」ページから各製品のプログラムが簡単に取得できるようになりました。)
- ◆ パケット生成やデータベースの処理プロセスの改善によりパフォーマンスが向上しました。
- ◆ 複数サーバーご利用時にシングルアドレスで運用できるようになりました。
- ◆ 新モジュール「authenticator」を実装しました。
(LDAP 認証の SSO オプション : SSO_LDAP_SCOPE、SSO_LDAP_BASE、SSO_LDAP_FILTER のサポートを開始しました。)
- ◆ インストール時にローカルシステムアカウントによって実行されるサービス「ISL Conference Proxy rights」が作成されます。
- ◆ ユーザーごとにグループの作成・編集・削除を許可/禁止できるようになりました。
Configuration > Security または Usermanagement > Security 内の
 - User can create groups (グループの作成)
 - User can edit groups (グループの編集)
 - User can delete groups (グループの削除)
- ◆ セッション転送、オペレーター転送の招待メールを編集できるようになりました。
Configuration > Light > Mail template for session transfer
Configuration > Light > Mail template to attach to running session
- ◆ 特定製品の使用を禁止している際のエラーメッセージを編集できるようになりました。
Security > Error message for disabled module
- ◆ モジュールの読み込みに失敗した際に管理者に通知メールが届くようになりました。
- ◆ 履歴ページにセッションコードが表示されるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ Windows Server 2016 のサポートを開始しました。
- ◆ Windows Server 2003、2003R2、2008 SP2(32bit)のサポートを終了しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.2k に更新しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、ユーザーがプロダクトログインページに初回ログインする際に必ずパスワード変更を求める仕様に変わりました。
(Usermanagement > User must change password の初期設定を「Yes」に変更しました)
- ◆ jQuery ライブラリのバージョンを 1.12.4 に更新しました。

- ◆ PostgreSQL のバージョンを 9.3.10 に更新しました。
- ◆ トラブル防止のため、サーバーの再起動を行うボタンをグレーアウトしました。
(「Restart selected」にチェックを入れると実行ボタンが押せるようになります)
- ◆ ISL Conference Proxy の再起動中に Windows の時間を逆行させると、サービスが起動しなくなる問題を解消しました。
- ◆ セッション転送の招待メールを題名をブランクにして送信すると、転送先で文字化けが発生する現象を解消しました
- ◆ プロダクトログインページのフッター内の「マニュアル」はご利用いただけません。

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、Mac 端末で ISL Light Desk が起動できなくなります。
- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット (すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」) 実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの「ダウンロード」で取得できる「ISL Groop Android」はサポート対象外です。
- ◆ プロダクトログインページの履歴から[エクスポート]ボタンで出力した CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われています。(unescape 関数で変換を行うことで日本語で表示できます)
- ◆ プロダクトログインページの「常駐接続」に関する以下の設定はご利用いただけません。
ConfigurariOn > ISL AlwaysOn
 - User can use actions functionality (「その他」の非表示)
 - User can use files functionality (「共有ファイル」の非表示) ※
 - Hide WakeOnLan functionality (「WOL 送信」ボタンの非表示)

これら機能をご利用いただく場合は、ISL AlwaysOn のプロダクトログインページのバージョンを変更していただく必要がございます。(詳しくは ISL Conference Proxy のマニュアルをご参照ください)

※No にすると「共有ファイル」はメニュー内に表示されますが、共有ファイルのページにはアクセスできない状態となります。

ISL Light 4.1.1、ISL Light Desk&Client 4.1.4 for Windows

● 新機能

ISL Light 4.1.1

- ◆ 「常駐接続」で、以下の機能が利用できるようになりました。
 - 接続先 PC のグループ分け（グループの作成、編集、削除）
 - 接続先 PC をグループ内共有
 - 接続先 PC のタグの編集
 - 接続先 PC の削除
 - コンピューターリストの画面更新
- ◆ ログイン後、UI 上で以下のショートカットが利用できるようになりました。
 - CTRL/CMD + G : グループ作成
 - CTRL/CMD + , : Light の設定を開く
- ◆ Light4 の UI から以下の項目を非表示にできるようになりました。（ISL Conference Proxy の管理画面で設定が必要です）
 - 「常駐」
 - 「パスワードを忘れた場合」
 - 「ログイン情報を保存」
 - 「接続先のサーバー名」
- ◆ 常駐接続で、アクセスパスワードを入力せずにクライアントに接続できるようになりました。（コマンドプロンプトによる実行が必要です）
- ◆ 常駐接続で、接続先 PC の名前（通称）を変更できるようになりました。
- ◆ セッション招待の画面に「メールソフトで送信する」を追加しました。
- ◆ [設定] > [一般] > 画面共有のグラフィックアクセラレーションで、Windows ネイティブ/DirectX の切り替えができるようになりました。（画面共有時に CPU 使用率が上昇する際のトラブルシューティングとして利用できます）
- ◆ [設定] > [カスタマイズ] で、現在使用中のカスタマイズの一覧が確認できるようになりました。

ISL Light Desk&Client 4.1.4

- ◆ 接続中の Windows のクライアントに対して、セッションを終了せずに別のオペレーターを招待できるようになりました。（同時接続が 2 本以上可能なライセンスを保有する必要があります）
- ◆ ビデオチャット開始時の画質（初期値）が Video High Quality (160 kbps/VPX) に変わりました。

● 変更・修正事項

- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
- ◆ ユーザー利便性向上のため、ツールバーの項目の配置を一部変更しました。

- ◆ セッション招待の画面で入力可能なテキストの文字数を、最大 1000 文字に設定しました。
- ◆ セッション招待のメール内のリンクをクリックすると、自動的にダウンロードページに遷移してクライアント用 exe のダウンロードを開始するようになりました。
- ◆ ワンタイムで「チャットのみ」を選択して接続後、クライアント側にチャットウィンドウが表示されるようになりました。
- ◆ ワンタイムで Mac 端末に接続後、ファイル転送でフォルダの「置き換え（上書き）」ができない問題を解消しました。
- ◆ ワンタイムで Mac 端末に接続後、ファイル転送で送信した「フォルダ」をゴミ箱に移動できるようになりました。（常駐で接続した場合はゴミ箱に移動できません）
- ◆ ワンタイムで Mac 端末（OSX 10.8 以上）に接続後、セッション再接続を有効にできるようになりました。（クライアントが Light4 の UI からセッションを開始している必要があります）
- ◆ 「常駐」の画面から「このコンピュータを登録する」のボタンを削除しました。
- ◆ オプションから「ワンタイム」「常駐」の切り替え機能を削除しました。
- ◆ フルスクリーンのショートカットを「Ctrl+Shift+Esc」から「CTRL + ESC」に変更しました。
- ◆ 一部のタブレット環境で、スクリーンの回転に共有画面が対応しない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、インストール中のウィンドウメッセージが文字化けする現象を解消しました。
- ◆ ISL Conference Proxy の管理画面 Advanced > GUI features で ISL Light 4 (light_v2) の機能を禁止していると、使用時に警告メッセージが表示されるようになりました。
- ◆ MacOSX 10.9 以上がインストールされている Mac 端末または iOS 製品のシステム情報（RAM 使用量）が正常に表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Light 4 は、ビデオチャットおよび音声チャットに対応していません。
- ◆ ヘッドセットおよびカメラを使った会話はオペレーターおよびクライアントが Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 録画したファイルを ISL Player で再生すると、カメラ映像（ビデオチャットの画面）が上下反転します。
- ◆ 設定内の[基本設定] > [デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]は利用できません。
- ◆ 設定内の[詳細設定]は利用できません。
- ◆ ISL Light 4 から接続を行った場合と、ISL Light Desk から接続を行った場合では、画面共有時のツールバーが異なります。
- ◆ 接続される側が Windows PC で、ISL Light Client から接続を行った場合は接続される側にコントロールバーは表示されません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 からワンタイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ 共有画面（ISL View）上へのドラッグ&ドロップによるファイル転送は、ISL Light 4 から接続を行

った場合のみご利用いただけます。

- ◆ 「常駐」で接続後、ファイル転送によるフォルダの「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合は利用できません。
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 以上、ISL AlwaysOn 2.2.3 以上を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でオペレータが ISL Light Desk、クライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- ◆ オペレータ PC の OS が Windows 8、8.1、10 で、かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、2012 R2、2016 には対応していません。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続（ISL AlwaysOn）の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ ログインページの「常駐接続」で「接続」をクリックした後に「パスワードを保存する」を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。（ISL Light 4 の UI（常駐）から接続する場合は問題ございません）（2017.12.20）
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ [システム情報] > [開く]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ [システム情報] > [ログ (Client)]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。（2018.11.08 追記）
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。（2018.12.17 追記）
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。（2019.05.10 追記）
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。
ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照
ください。

ISL AlwaysOn 2.2.9 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
- ◆ 接続先 PC のグループ分け（グループの作成、編集、削除）に対応しました。
- ◆ プロダクトログインページの常駐画面で[接続]をクリックすると、ISL Light.exe がダウンロードされる仕様になりました。※（以前のバージョンのプログラムを使用する場合は、[接続（以前のバージョン）]をクリックしてください。）
※音声チャット、ビデオチャット、遠隔プリントをご利用の場合は、以前のバージョンのプログラムで接続を行ってください。
- ◆ ISL Conference Proxy の管理画面からクローニングが行えるようになりました。（詳細は常駐接続（ISL AlwaysOn）大量導入 & アップグレードマニュアルをご参照ください）

● 変更・修正事項

- ◆ Windows Server 2016 のサポートを開始しました。
- ◆ プロダクトログインページで、複数台の端末に対して「EXE 実行」と「シャットダウン」を実行できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの各検索パラメータが使用できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの[アクション]で、「シャットダウン」機能が動作しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ コンピューターの「詳細」で長い文字列を設定している場合、URL に使用できる文字数制限により Internet Explorer で「接続（以前のバージョン）」から接続が行えません。（使用可能な文字列の長さはライセンスファイルに紐づく IP アドレスや DNS 名の長さにより異なります）（2018.11.08 追記）
- ◆ Windows XP 端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。（2017.9.28 追記）
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。（一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。）
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。（詳細は ISL Light 4 マニュアルをご参照ください）
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォ

ルダ内为空の場合のみ削除できます。

- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Groop 3.1.0 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトページのデザインを一新しました。
- ◆ ホストから参加者に対して ISL Light によるリモート接続を開始できるようになりました。
(接続を開始するホストが ISL Online のアカウントを所有している必要があります。Web 会議のセッション分とは別に同時接続ライセンスを消費します。)

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が、Windows 7 以上になりました。
- ◆ セッションコードの入力時、ダッシュ (-) の入力が必要になりました。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 インストールしている環境で Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルをインポートできない問題を解消しました。
- ◆ 拡張子が「.jpeg」の JPEG ファイルをインポートできない問題を解消しました。
- ◆ フルスクリーンモードの実行後、解除するまでマウスカーソルが消えてしまう問題を解消しました。
- ◆ ウィンドウを最大化した状態でフルスクリーンに切り替えると、通常のウィンドウサイズに戻せなくなる問題を解消しました。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ Microsoft PowerPoint 2016 には対応していません。
- ◆ 画面共有時の「アプリケーション共有」機能はご利用いただけません。(2018.1.18 追記)
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ 一部メニューが英語で表示されます。

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 4.1.2、ISL Light Client 4.1.2 for Mac

● 新機能

- ◆ macOS Sierra に対応しました。

● 新機能 (ISL Light 4.1.2 のみ)

- ◆ 「常駐接続」で、以下の機能が利用できるようになりました。
 - 接続先 PC のグループ分け (グループの作成、編集、削除)
 - 接続先 PC をグループ内共有
 - 接続先 PC のタグの編集
 - 接続先 PC の削除
 - コンピュータリストの画面更新
- ◆ Light4 の UI から以下の項目を非表示にできるようになりました。(ISL Conference Proxy の管理画面で設定が必要です)
 - 「常駐」
 - 「パスワードを忘れた場合」
 - 「ログイン情報を保存」
 - 「接続先のサーバー名」
- ◆ 常駐接続で、接続先 PC の名前 (通称) を変更できるようになりました。
- ◆ セッション招待の画面に「メールソフトで送信する」を追加しました。
- ◆ [設定] > [一般] > 画面共有のグラフィックアクセラレーションで、Windows ネイティブ/DirectX の切り替えができるようになりました。(画面共有時に CPU 使用率が上昇する際のトラブルシューティングとして利用できます)
- ◆ [設定] > [カスタマイズ] で、現在使用中のカスタマイズの一覧が確認できるようになりました。
- ◆ 無操作状態での画面更新のパフォーマンスを改善しました。

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が、OSX 10.8 (Mountain Lion) になりました。
- ◆ ユーザー利便性向上のため、ツールバーの項目の配置を一部変更しました。
- ◆ セッション招待の画面で入力可能なテキストの文字数を、最大 1000 文字に設定しました。
- ◆ ワンタイムで「チャットのみ」を選択して接続後、クライアント側にチャットウィンドウが表示されるようになりました。
- ◆ ワンタイムで Mac 端末 (OSX 10.8 以上) に接続後、セッション再接続を有効にできるようになりました。(クライアントが Light4 の UI からセッションを開始している必要があります)
- ◆ 「常駐」の画面から「このコンピュータを登録する」のボタンを削除しました。

- ◆ オプションから「ワнтаイム」「常駐」の切り替え機能を削除しました。
- ◆ 一部のタブレット環境で、スクリーンの回転に共有画面が対応しない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、インストール中のウィンドウメッセージが文字化けする現象を解消しました。
- ◆ MacOSX 10.9 以上がインストールされている Mac 端末または iOS 製品のシステム情報（RAM 使用量）が正常に表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ビデオチャットおよび音声チャットには対応していません。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送には対応していません。
- ◆ 設定内の「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」は利用できません。
- ◆ クライアント Windows PC で ISL Light 4 からワнтаイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ ワнтаイムで Mac 端末に接続後、ファイル転送でフォルダの「置き換え（上書き）」ができるようになりました。（常駐で接続した場合は置き換え（上書き）できません）
- ◆ クライアントが Mac（ISL Light 4.0.4 以上、ISL AlwaysOn 2.2.3 以上を利用中）の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 「Ctrl + Alt + Del の送信」「Win + L」「Win + R」はクライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「品質を優先する」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、クライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、2012 R2、2016 には対応しておりません。
- ◆ クリップボードが有効の場合、日本語をクリップボードで保存して ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行うと文字化けが発生します。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続（ISL AlwaysOn）の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。（2018.11.08 追記）
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。（2019.05.10 追記）
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

※前回リリース時からプログラムに変更点はありません。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」 (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません (※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます (※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値 (自動) になっている場合は、エラーメッセージが表示されます (※2)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター (ワンタイム接続に関する質問) ページをご参照ください。

ISL AlwaysOn 2.2.9 for Mac

● 新機能

- ◆ macOS Sierra に対応しました。
- ◆ プロダクトログインページのデザインを一新しました。
- ◆ 接続先 PC のグループ分け（グループの作成、編集、削除）に対応しました。
- ◆ プロダクトログインページの常駐画面で[接続]をクリックすると、ISL Light.exe がダウンロードされる仕様になりました。※（以前のバージョンのプログラムを使用する場合は、[接続（以前のバージョン）]をクリックしてください。）

● 変更・修正事項

- ◆ 最低動作環境が、Mac OS X 10.7（Lion）になりました。
- ◆ プロダクトログインページで、複数台の端末に対して「EXE 実行」と「シャットダウン」を実行できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの各検索パラメータが使用できるようになりました。
- ◆ プロダクトログインページの[アクション]で、「シャットダウン」機能が動作しない問題を解消しました。
- ◆ レコーディングファイルの ISL Conference Proxy サーバーへの自動保存を有効にしている場合に、プロダクトログインページ（常駐接続）から接続できない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」は ISL Light 4 の常駐接続から接続を行った場合のみ有効です。詳細は、ISL Light 4 マニュアルをご参照ください。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけませ

ん。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Macの端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されません
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Conference Proxy 4.2.10 (2016.10.12) - OpenSSL 脆弱性 (CVE-2016-6301) 対応 -

日本時間の2016年9月23日および26日に公開された、暗号化ソフトウェアライブラリ(OpenSSL)の脆弱性を解消する ISL Conference Proxy をリリースしました。

現在 ISL Conference Proxy 4.2.9 をご利用中の場合は『ISL Conference Proxy 4.2.10』にバージョンアップすることで 脆弱性に対応した最新版の OpenSSL が使用されます。 ※

※今回の脆弱性に関する対応についての詳細は、 [こちら](#)をご参照ください。

● 制限事項

- ◆ アップグレードすることで、OpenSSL が最新バージョン (1.0.2j) に変更されます。

ISL Conference Proxy 4.2.9 (2016.6.30)

ISL Conference Proxy 4.2.9

● 修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.1t に変更しました。
- ◆ パケット生成のプロセスやデータベースの処理速度の改善によりパフォーマンスが向上しました。
- ◆ レコーディングファイルを ISL Conference Proxy のサーバー内に自動保存できるようになりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、プロダクトログインページのログインに以下の機能が追加されました。
 - パスワードの入力回数に制限をかけられるようになりました。
 - パスワードに有効期限を設定できるようになりました。
 - 初回ログイン時に、必ずパスワードを変更させることができるようになりました。
 - [パスワードを忘れた場合]により発行されるメール内の URL の有効期限が 30 分に設定されました。
- ◆ プロダクトログインページおよび管理画面へのアクセス結果が記録されるようになりました。
- ◆ 管理画面からユーザーを選択してプロダクトログインページを開くことができるようになりました。

● 変更事項

- ◆ プロダクトログインページでグルーピングを行っている「共有ユーザー」の情報を表示するには、管理画面で以下の設定が必要です。
Security > User can view list of users in own domain = Yes

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、Mac 端末で ISL Light Desk が起動できなくなります。
- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット（すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」）実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの履歴から[エクスポート]ボタンで出力した CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われています。（unescape 関数で変換を行うことで日本語で表示できます）

◆ プロダクトログインページの ISL AlwaysOn の画面に関する設定 (Configurariion > ISL AlwaysOn) 内のうち、以下の設定はデフォルトではご利用いただけません。

- User can use actions functionality (「その他」の非表示)
- User can use files functionality (「共有ファイル」の非表示)
- Hide WakeOnLan functionality (「WOL 送信」ボタンの非表示)

これら機能をご利用いただく場合は、ISL AlwaysOn のプロダクトログインページのバージョンを「2」に変更していただく必要があります。(詳しくは常駐接続 (ISL AlwaysOn) のマニュアルをご参照ください)

ISL Light 4.0.4、ISL Light Desk&Client 4.0.2 for Windows

● 新機能

- ◆ ワンタイム接続専用のプログラム (ISL Light Desk、ISL Light Client) をリリースしました。オペレーターおよびクライアントの両方で専用のプログラムを使用している場合は、以下の機能が利用できます。
 - ビデオチャットおよび音声チャット
 - 遠隔プリント
- ◆ ISL Online の動画再生プログラム、ISL Player が 4.0 にバージョンアップしました。
- ◆ ISL Light 4 のインストールおよびログイン画面のロゴ画像が変更できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL Light 4 の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ 一部の環境で、Mac 端末に常駐接続 (高速接続) で接続を行った際にデスクトップ共有が行われないことがあった問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、自動レコーディングを有効にした状態で管理者権限で UAC を有効にしている端末に接続を行うと、共有画面が表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Light 4 は、ビデオチャットおよび音声チャットに対応していません。
- ◆ ヘッドセットおよびカメラを使った会話はオペレーターおよびクライアントが Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 設定内の[基本設定] > [デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]は利用できません。
- ◆ 設定内の[詳細設定]は利用できません。
- ◆ ISL Light 4 から接続を行った場合と、ISL Light Desk から接続を行った場合では、画面共有時のツールバーが異なります。
- ◆ 接続される側が Windows PC で、ISL Light Client から接続を行った場合は接続される側にコントロールバーは表示されません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 からワンタイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ 共有画面 (ISL View) 上へのドラッグ&ドロップによるファイル転送は、ISL Light 4 から接続を行った場合のみご利用いただけます。
- ◆ 管理者モードでご利用中、1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面 (ISL View) が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)(2017.3.8 追記)

- ◆ ファイル転送によるフォルダの「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合は利用できません。
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 あるいは ISL AlwaysOn 2.2.3 を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でオペレータが ISL Light Desk、クライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- ◆ オペレータ PC の OS が Windows 8、8.1、10 で、かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応していません。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続（ISL AlwaysOn）の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ セッションの転送先が Windows の場合、起動するオペレータ用のプログラムは ISL Light Desk 4.0.2 となります。
- ◆ [システム情報] > [開く]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ [システム情報] > [ログ (Client)]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。(2018.12.17 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照

ください。

ISL Light 3.5.6 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更はありませんが、プラグインの更新により一部制限事項が解消されました。

● 修正事項

- ◆ ISL Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示されてインストールできない問題を解消しました。
- ◆ ワンタイム接続で Mac 端末に対してデスクトップ共有を行うと、壁紙表示が無効になる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP で、[設定]→[音声設定]画面で音量を変更してもメインウィンドウの音量に反映されません。
- ◆ ISL Light の画面共有ウィンドウ上でレコーディングを停止すると「見る」ボタンが表示されますが、現状では、再生ソフト(ISL Player)がダウンロードされるだけで、ファイルは自動的に再生されません。ファイルを再生するには ISL Player を起動し、メニューから直接ファイルを開く必要があります。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ Microsoft Windows Server 系 OS でのビデオチャットおよび音声チャットはサポートしていません。
- ◆ 「コンソールウィンドウ (コマンドプロンプト) の表示」にチェックを入れている状態で、Windows 7 32bit 上のコマンドプロンプトを実行すると異常終了します。
- ◆ 遠隔プリンタの利用時は、リモート PC に管理者権限でログインする必要があります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。
- ◆ Windows 8、8.1、10 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) にホワイトボードによる書きこみを行うことはできません。
- ◆ Windows 8、8.1、10 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません (ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。)
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に ISL Light で接続した場合、「セッション再接続を有効にする」は使用できません。
- ◆ プロダクトログインページの[ユーザー]>[詳細設定]で Mac アドレスを使用したフィルタリングの設定を行っている場合は、そのユーザーでログインした際「ワンタイム接続」のページはご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)

- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。(2018.12.17 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

ISL AlwaysOn 2.2.7 for Windows

● 新機能

- ◆ 接続オプションに「ファイルボックスを非表示にする」を追加しました。(有効にして接続すると接続先の PC 上の「ファイルボックス」が非表示になります)
- ◆ プロダクトログインページ (ISL AlwaysOn) のデザインを変更しました。
- ◆ プロダクトログインページで一斉グルーピングが実行できるようになりました。(ISL Conference Proxy の管理画面 > File storage で事前に設定ファイルを取り込む必要がなくなりました)
- ◆ プロダクトログインページで任意の複数端末に対して一斉にアクション (削除、履歴、アップグレード、パスワード変更、システム情報) が実行できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL AlwaysOn で使用している exe のデジタル証明書の署名アルゴリズムを、SHA-2 に変更しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、プロダクトログインページのプロフィールの Email アドレス変更時にログインパスワードの入力が必要になりました。
- ◆ ISL AlwaysOn の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ 設定 > 基本設定でインビテーションコードを入力してリモートユーザー追加できない現象を解消しました。
- ◆ 設定 > 詳細設定 > 接続で「コネクションテスターを起動」が動作しない現象を解消しました。
- ◆ プロダクトログインページで複数端末を対象にした「Exe 実行」および「シャットダウン」の機能を廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのクライアント PC の「編集」画面の、アイコン画像の変更および共有コンピューターの「ユーザーの選択」ボタンを廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのその他 > 履歴から、端末の接続履歴を XML 形式でエクスポートする機能を廃止しました。
- ◆ 一部のタブレット PC で、デスクトップ共画面を回転表示できない現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、セッションが正常に終了できない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、高速接続で接続後にファイル転送を一時停止して再開するとファイルが正常に送信できなくなる現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、VMware Horizon View のエージェントがインストールされている端末に接続を行うとマウスの操作切替が正常に行われず現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Windows 8 以上の端末に対してデスクトップ共有を実行中、接続先が無操作で画面更新がない場合にマウスカーソルが正常に表示されない現象を解消しました。
- ◆ サーバーとの通信データ量を削減しました。

● 制限事項

- ◆ コンピューターの「詳細」で長い文字列を設定している場合、URL に使用できる文字数の制限により Internet Explorer から接続が行えません。(使用可能な文字列の長さはライセンスファイルに紐づく IP アドレスや DNS 名の長さにより異なります) (2018.11.08 追記)
- ◆ Windows XP 端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。(2017.9.28 追記)
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)(2017.3.8 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページの「グループ」「アクセス許可」「種類」の検索パラメータはご利用いただけません。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル(フォルダー)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、「共有しているユーザー」横の「歯車」ボタンをクリックしてユーザーの共有を解除することはできません。
- ◆ プロダクトログインページの[その他]> [シャットダウン] のアクション選択で「シャットダウン」の機能は現在ご利用いただけません。(2016.08.31 追記)
- ◆ 高速接続(接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態)で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ(ファイル)は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ(ファイル)を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。(2018.11.08 追記)

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Groop 3.0.3 for Windows

※前回リリース時から変更点はありません。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ エクスポートを行う場合は、Microsoft PowerPoint 2007 以上が必要です。(Office 2003 のエクスポートは対応していません)
- ◆ Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのエクスポートはできません。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 がインストールされている端末では、Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのインポートはできません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 4.0.4、ISL Light Client 4.0.4 for Mac

※前回リリース時からプログラムに変更はありませんが、プラグインの更新により一部制限事項が解消されました。

● 新機能

- ◆ ISL Online の動画再生プログラム、ISL Player が 4.0 にバージョンアップしました。
- ◆ ISL Player の app を Mac PC 内にインストールできるようになりました。
- ◆ ISL Light 4 のインストールおよびログイン画面のロゴ画像が変更できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL Light 4 の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に接続して画面共有を行った場合、Dock が点滅して表示される現象を解消しました。
- ◆ ISL Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示されてインストールできない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Mac 端末に常駐接続（高速接続）で接続を行った際にデスクトップ共有が行われないことがあった問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、自動レコーディングを有効にした状態で管理者権限で UAC を有効にしている端末に接続を行うと、共有画面が表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ビデオチャットおよび音声チャットには対応していません。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送には対応していません。
- ◆ 設定内の「詳細設定」「ダッシュボードのタブを非表示する」「ダッシュボードの表示を無効にする」「パスワードを忘れた場合を非表示にする」「サーバーの選択を非表示にする」「サインアップを非表示にする」は利用できません。
- ◆ 設定内の「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」は利用できません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 からワンタイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ ファイル転送によるフォルダの「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合は利用できません。
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 あるいは ISL AlwaysOn 2.2.3 を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 「Ctrl + Alt + Del の送信」「Win + L」「Win + R」はクライアントが Windows の場合のみ実行できます。

- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「品質を優先する」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、クライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。
- ◆ クリップボードが有効の場合、日本語をクリップボードで保存して ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行うと文字化けが発生します。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。(メッセージが表示されますが続けて入力できます)
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続 (ISL AlwaysOn) の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ セッションの転送先が Windows の場合、起動するオペレータ用のプログラムは ISL Light Desk 4.0.2 となります。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

ISL Light Desk 3.3.5 for Mac

※前回リリース時からプログラムに変更点はありません。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」 (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません (※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます (※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値 (自動) になっている場合は、エラーメッセージが表示されます (※2)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター (ワンタイム接続に関する質問) ページをご参照ください。

ISL AlwaysOn 2.2.7 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.11 (El Capitan) への接続に対応しました。
- ◆ 画面共有開始時に接続先の PC で自動的にレコーディングを開始できるようになりました。
- ◆ レコーディングファイルを Mac の PC で再生できるようになりました。
- ◆ 接続オプションに「ファイルボックスを非表示にする」を追加しました。(有効にして接続すると接続先の PC 上の「ファイルボックス」が非表示になります)
- ◆ プロダクトログインページ (ISL AlwaysOn) のデザインを変更しました。
- ◆ プロダクトログインページで一齐グルーピングが実行できるようになりました。(ISL Conference Proxy の管理画面 > File storage で事前に設定ファイルを取り込む必要がなくなりました)
- ◆ プロダクトログインページで任意の複数端末に対して一齐にアクション (削除、履歴、アップグレード、パスワード変更、システム情報) が実行できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL AlwaysOn で使用している exe のデジタル証明書の署名アルゴリズムを、SHA-2 に変更しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、プロダクトログインページのプロフィールの Email アドレス変更時にログインパスワードの入力が必要になりました。
- ◆ ISL AlwaysOn の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ 設定 > 基本設定でインビテーションコードを入力してリモートユーザーの追加ができない現象を解消しました。
- ◆ 設定 > 詳細設定 > 接続で「コネクションテスターを起動」が動作しない現象を解消しました。
- ◆ プロダクトログインページで複数端末を対象にした「Exe 実行」および「シャットダウン」の機能を廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのクライアント PC の「編集」画面の、アイコン画像の変更および共有コンピューターの「ユーザーの選択」ボタンを廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのその他 > 履歴から、端末の接続履歴を XML 形式でエクスポートする機能を廃止しました。
- ◆ 一部のタブレット PC で、デスクトップ共画面を回転表示できない現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、セッションが正常に終了できない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、高速接続で接続後にファイル転送を一時停止して再開するとファイルが正常に送信できなくなる現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、VMware Horizon View のエージェントがインストールされている端末に接続を行うとマウスの操作切替が正常に行われず現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Windows 8 以上の端末に対してデスクトップ共有を実行中、接続先が無操作で画面

更新がない場合にマウスカーソルが正常に表示されない現象を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページの「グループ」「アクセス許可」「種類」の検索パラメータはご利用いただけません。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、「共有しているユーザー」横の「歯車」ボタンをクリックしてユーザーの共有を解除することはできません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。
- ◆ プロダクトログインページの[その他]> [シャットダウン] のアクション選択で「シャットダウン」の

機能は現在ご利用いただけません。

- ◆ レコーディングファイルの ISL Conference Proxy サーバーへの自動保存を有効にしている場合は、プロダクトログインページ（常駐接続）から接続できません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Conference Proxy 4.1.6 (2016.10.12) - OpenSSL 脆弱性 (CVE-2016-6301) 対応 -

日本時間の2016年9月23日および26日に公開された、暗号化ソフトウェアライブラリ(OpenSSL)の脆弱性を解消する ISL Conference Proxy をリリースしました。

現在 ISL Conference Proxy 4.1.2 または 4.1.5 をご利用の場合は『ISL Conference Proxy 4.1.6』にバージョンアップすることで 脆弱性に対応した最新版の OpenSSL が使用されます。 ※

※今回の脆弱性に関する対応についての詳細は、 [こちら](#)をご参照ください。

● 制限事項

- ◆ アップグレードすることで、OpenSSL が最新バージョン (1.0.2j) に変更されます。

ISL Conference Proxy 4.1.5 (2015.6.29)

ISL Conference Proxy 4.1.5

● 修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.1m に更新しました。
- ◆ ISL Conference Proxy Upgrade のサービスを停止した際に、エラーメッセージが生じる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット（すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」）実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの履歴ページ内の[エクスポート]ボタンから出力すると、CSV ファイル内の日本語が文字化けします。

ISL Light 4.0.2 for Windows

● 新機能（初回リリース）

- ◆ UI および接続後の画面デザインが一新されました。
- ◆ ワンタイム接続、常駐接続の両方が利用できるようになりました。
- ◆ 常駐接続で、端末に対する接続までの時間が短くなりました。
- ◆ インストールして利用できるようになりました。
- ◆ UI 上でセッションの停止・一時停止・再開ができるようになりました。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードが保存できるようになりました。
- ◆ 共有画面上にファイルをドラッグ&ドロップしてファイル転送が実行できるようになりました。
- ◆ 接続先のシステム情報が取得できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ ビデオチャットおよび音声チャットには対応していません。
- ◆ 設定内の[基本設定] > [デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]は利用できません。(2016.4.12 追記)
- ◆ 設定内の「詳細設定」は利用できません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 を使用している場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ Light 4 の UI から接続した場合、常駐接続 (ISL AlwaysOn) の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。(2015.11.5 追記)
- ◆ ファイル転送によるファイル (フォルダ) の「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合はご利用いただけません。(2016.1.30 追記)
- ◆ ヘルプデスクを使用して Mac 端末にデスクトップ共有を行った場合、Mac 端末の壁紙機能は無効になります。(壁紙を表示する場合はデスクトップ共有後に Mac 端末の壁紙を手動で有効にしてください) (2015.11.1 追記)
- ◆ オペレータ PC の OS が Windows 8、8.1、10 で、かつ管理者権限 (または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー) でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。(2015.8.17 追記)
- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。(2015.8.17 追記)
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応していません。(2015.8.17 追記)
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません (ヘルプデスクの各

ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。)(2015.8.17 追記)

- ◆ 接続先の PC が Mac の場合は、[ツールバー] > [クリップボード]の機能はご利用いただけません。(2016.1.30 追記)
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数がございます。(メッセージが表示されますが続けて入力できます)
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 あるいは ISL AlwaysOn 2.2.3 を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。(2016.2.29 追記)
- ◆ ファイル転送によるフォルダ (フォルダ内のファイル) の「置き換え」はクライアントが Mac の場合はご利用いただけません。(2016.2.29 追記)
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。(2016.2.29 追記)
- ◆ セッションの転送先が Windows の場合、起動するオペレータ用のモジュール(ISL Light Desk.exe) は ISL Light 3.5.6 となります。(2016.2.29 追記)
- ◆ [システム情報] > [開く]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 または ISL Light 3.3.5 を使用している場合はご利用いただけません。(2016.2.29 追記)
- ◆ [システム情報] > [ログ (Client)]の機能はクライアントが ISL Light 3.3.5 を使用している場合はご利用いただけません。(2016.2.29 追記)
- ◆ ISL Confernece Proxy 管理画面の[Configuration] > [ISL AlwaysOn] > [ISL AlwaysOn enabled]、および[Configuration] > [ISL Light] > [ISL Light enabled]の設定を「NO (無効)」にしても、Light 4 の UI 上からワнтаイムおよび常駐接続の利用を禁止できません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。(2018.12.17 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

ISL Light 3.5.6 for Windows

● 新機能・変更事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書に対応しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、セキュリティ証明書 (X.509 証明書) をプログラム内部に埋め込みました。

● 修正事項

- ◆ Caps Lock が有効になっている端末にリモートで接続後、接続する側で Caps Lock を有効にすると、正しく大文字が入力できない現象を解消しました。
- ◆ ネットワーク回線が遅い環境で自動レコーディングオプションを使用すると、録画ファイルが正常に保存されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP で、[設定]→[音声設定]画面で音量を変更してもメインウィンドウの音量に反映されません。
- ◆ ISL Recording Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示され、インストールできません。
- ◆ ISL Light の画面共有ウィンドウ上でレコーディングを停止すると「見る」ボタンが表示されますが、現状では、再生ソフト (ISL Player) がダウンロードされるだけで、ファイルは自動的に再生されません。ファイルを再生するには ISL Player を起動し、メニューから直接ファイルを開く必要があります。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ ヘルプデスクを使用して Mac 端末にデスクトップ共有を行った場合、Mac 端末の壁紙機能は無効になります。(壁紙を表示する場合はデスクトップ共有後に Mac 端末の壁紙を手動で有効にしてください) (2015.11.1 追記)
- ◆ Microsoft Windows Server 系 OS でのビデオチャットおよび音声チャットはサポートしていません。
- ◆ 「コンソールウィンドウ (コマンドプロンプト) の表示」にチェックを入れている状態で、Windows 7 32bit 上のコマンドプロンプトを実行すると異常終了します。
- ◆ 64bit の Windows マシンでは、遠隔プリントは対応していません。
- ◆ 遠隔プリンタの利用時は、リモート PC に管理者権限でログインしている必要があります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応していません。(2015.8.17 追記)
- ◆ Windows 8、8.1、10 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) にホワイトボードによる書きこみを行うことはできません。(2015.8.17 追記)
- ◆ Windows 8、8.1、10 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) に共有画面のメニューやツール

実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）（2015.8.17 追記）

- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に ISL Light で接続した場合、「セッション再接続を有効にする」は使用できません。
- ◆ プロダクトログインページの[ユーザー]>[詳細設定]で Mac アドレスを使用したフィルタリングの設定を行っている場合は、そのユーザーでログインした際「ワンタイム接続」のページはご利用いただけません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。（2018.11.08 追記）
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。（2018.12.17 追記）
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。（2019.05.10 追記）

ISL AlwaysOn 2.2.3 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページの[その他] > [EXE 実行]から、Windows 端末に対し特定の EXE を（システムアカウントで）実行できるようになりました。

● 修正事項

- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合にも、ホワイトボードが利用できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ コンピューターの「詳細」で長い文字列を設定している場合、URL に使用できる文字数の制限により Internet Explorer から接続が行えません。（使用可能な文字列の長さはライセンスファイルに紐づく IP アドレスや DNS 名の長さにより異なります）（2018.11.08 追記）
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ 「メインウィンドウを非表示にする」の接続オプションを有効にすると、共有画面の右下に出るメッセージウィンドウが英語で表示されます。
- ◆ プロダクトログインページで[その他] > [シャットダウン]実行後、.out のリンクをクリックして実行結果をダウンロードすることはできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Groop 3.0.3 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更点はありませんが、一部機能が追加されたほか、一部制限事項が解消されました。

● 新機能

- ◆ Web 会議/セミナー作成時に、開始直後の画面レイアウトの設定ができるようになりました。
- ◆ 登録済ユーザーページに[ユーザーを登録]ボタンが追加されました。オーナー側で参加者を登録できるようになりました。

● 修正事項

- ◆ 登録済ユーザーの一覧を[CSV にエクスポート]ボタンから出力すると、CSV ファイル内の日本語が文字化けする現象を解消しました。
- ◆ 会議の作成および編集を行う際に、開始時間をカレンダーから設定することができない現象を解消しました。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ エクスポートを行う場合は、Microsoft PowerPoint 2007 以上が必要です。(Office 2003 のエクスポートは対応していません)
- ◆ Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのエクスポートはできません。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 がインストールされている端末では、Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのインポートはできません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に接続して画面共有を行った場合、Dock が点滅して表示されます。(2015.7.10 追記)
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。(2015.12.15 追記)
- ◆ ファイル転送によるファイル（フォルダ）の「置き換え」はご利用いただけません。(2016.1.30 追記)
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「デスクトップの共有範囲の選択」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」、「レコーディング」
(なお、一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値（自動）になっている場合は、エラーメッセージが表示されます(※2)。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター（ワンタイム接続に関する質問）ページをご参照ください。

ISL AlwaysOn 2.2.3 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ 接続オプションに「ISL Light Client を利用する」が追加されました。
(従来の方で接続を行う場合は、こちらを選択する必要があります)
- ◆ 接続までの時間がより短くなりました※
※新方式で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます。
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するには、ファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います。
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 設定画面の[デスクトップ共有] > [詳細設定]に「ISL Light Client を利用する」が追加されました。
(設定を有効にするには、「デフォルトのサーバー設定を有効にする」のチェックボックスをオフにする必要があります)
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末の特定のディスプレイを選択して表示できるようになりました
(使用するには ISL AlwaysOn の接続オプションで「ISL Light Client を利用する」のチェックを外す必要があります)
- ◆ プロダクトログインページの[その他] > [EXE 実行]から、Windows 端末に対し特定の EXE を（システムアカウントで）実行できるようになりました。
- ◆ Mac 端末に接続した際、セッション再接続が自動で有効化されるようになりました。

● 修正事項

- ◆ Mac の端末間でデスクトップ共有を行った際、Cmd+スペース、Ctrl+スペースのショートカットの送信が正常に機能しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。(2015.12.15 追記)
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。

- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[レコーディング]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページで[その他] > [シャットダウン]実行後、.out のリンクをクリックして実行結果をダウンロードすることはできません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Conference Proxy 4.1.2 (2015.3.10)

ISL Conference Proxy 4.1.2

● 新機能および改善事項

- ◆ データベースの管理システムに PostgreSQL を採用したことにより、データベースへの書き込み速度、安定性が向上しました。
- ◆ サービス「ISL Conference Proxy」はユーザー「islcp」によって実行されます。
- ◆ インストール時にローカルシステムアカウントによって実行されるサービス「ISL Conference Proxy upgrade」が作成されます。
- ◆ セキュリティ強化のため、ユーザーのパスワード情報が暗号化保存されるようになりました。
(既存のユーザーの暗号化を行うにはパスワードを再度設定してください)
- ◆ プロダクトログインページ内に履歴が追加されました。(Web 会議の履歴はご利用いただけません)
- ◆ アップデート時に、必要のない古いバージョンのプログラムやモジュールが削除されるようになりました。
- ◆ 一斉グルーピングが実行できるようになりました(詳細は『[ISL AlwaysOn 大量導入マニュアル](#)』をご参照ください)

● 修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、SSL 2.0 および SSL 3.0 による SSL 接続を廃止しました。
(「SSL 3.0」までしか使用できないブラウザではプロダクトログインページには通信が行えなくなります。「TLS 1.0」以上が利用可能なブラウザでご利用ください。)

● 制限事項

- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット(すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」) 実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの履歴ページ内の[エクスポート]ボタンから出力すると、CSV ファイル内の日本語が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの履歴ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 3.5.5 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更点はありませんが、一部不具合が修正されました。

● 新機能

- ◆ Windows 8 または 8.1 への接続を行った際、オペレータ側で[ツール] > [デスクトップドライバ]から以下の 2 つから選択できるようになりました。
 - Desktop-duplication-API を利用する
 - Desktop-duplication-API を利用しない

● 修正事項

- ◆ 「Desktop duplication API を利用する」の機能を改善しました。
(一部の環境で発生していた、Windows 8 または 8.1 に接続するとデスクトップ共有画面の一部しか見えなくなる現象が解消されました)
- ◆ Caps Lock が有効になっている端末にリモートで接続後、接続する側で Caps Lock を有効にすると、正しく大文字が入力できない現象を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP で、[設定]→[音声設定]画面で音量を変更してもメインウィンドウの音量に反映されません。
- ◆ ISL Recording Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示され、インストールできません。
- ◆ ISL Light の画面共有ウィンドウ上でレコーディングを停止すると「見る」ボタンが表示されますが、現状では、再生ソフト(ISL Player)がダウンロードされるだけで、ファイルは自動的に再生されません。ファイルを再生するには ISL Player を起動し、メニューから直接ファイルを開く必要があります。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ Microsoft Windows Server 系 OS でのビデオチャットおよび音声チャットの使用はサポートしていません。
- ◆ 「コンソールウィンドウ (コマンドプロンプト) の表示」にチェックを入れている状態で、Windows 7 32bit 上のコマンドプロンプトを実行すると異常終了します。
- ◆ 64bit の Windows マシンでは、遠隔プリントは対応しておりません。
- ◆ 遠隔プリンタの利用時は、リモート PC に管理者権限でログインする必要があります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。

- ◆ Windows 8 および Windows 8.1 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）にホワイトボードによる書きこみを行うことはできません。
- ◆ Windows 8 および Windows 8.1 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に ISL Light で接続した場合、「セッション再接続を有効にする」は使用できません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 特定のアプリケーションまたは範囲を選択した画面共有は正常に動作しません。(2018.12.17 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

ISL AlwaysOn 2.2.3 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページの[その他] > [EXE 実行]から、Windows 端末に対し特定の EXE を（システムアカウントで）実行できるようになりました。

● 修正事項

- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合にも、ホワイトボードが利用できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ コンピューターの「詳細」で長い文字列を設定している場合、URL に使用できる文字数の制限により Internet Explorer から接続が行えません。（使用可能な文字列の長さはライセンスファイルに紐づく IP アドレスや DNS 名の長さにより異なります）（2018.11.08 追記）
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ 「メインウィンドウを非表示にする」の接続オプションを有効にすると、共有画面の右下に出るメッセージウィンドウが英語で表示されます。
- ◆ プロダクトログインページで[その他] > [シャットダウン]実行後、.out のリンクをクリックして実行結果をダウンロードすることはできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ISL Groop 3.0.3 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更点はありませんが、一部機能が追加されたほか、一部制限事項が解消されました。

● 新機能

- ◆ Web 会議/セミナー作成時に、開始直後の画面レイアウトの設定ができるようになりました。
- ◆ 登録済ユーザーページに[ユーザーを登録]ボタンが追加されました。オーナー側で参加者を登録できるようになりました。

● 修正事項

- ◆ 登録済ユーザーの一覧を[CSV にエクスポート]ボタンから出力すると、CSV ファイル内の日本語が文字化けする現象を解消しました。
- ◆ 会議の作成および編集を行う際に、開始時間をカレンダーから設定することができない現象を解消しました。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ エクスポートを行う場合は、Microsoft PowerPoint 2007 以上が必要です。(Office 2003 のエクスポートは対応していません)
- ◆ Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのエクスポートはできません。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 がインストールされている端末では、Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのインポートはできません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

ISL Light 3.3.5 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に接続して画面共有を行った場合、Dock が点滅して表示されます。(2015.7.10 追記)
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。(2015.12.15 追記)
- ◆ ファイル転送によるファイル（フォルダ）の「置き換え」はご利用いただけません。(2016.1.30 追記)
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「デスクトップの共有範囲の選択」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」、「レコーディング」
(なお、一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません (※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます (※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値（自動）になっている場合は、エラーメッセージが表示されます (※2)。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター (ワンタイム接続に関する質問) ページをご参照ください。

- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ 640 x 480 のビデオキャプチャに対応していないカメラは使用できません。(2019.05.10 追記)

ISL AlwaysOn 2.2.3 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ 接続オプションに「ISL Light Client を利用する」が追加されました。
(従来の方式で接続を行う場合は、こちらを選択する必要があります)
- ◆ 接続までの時間がより短くなりました※
※新方式で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます。
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するには、ファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います。
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 設定画面の[デスクトップ共有] > [詳細設定]に「ISL Light Client を利用する」が追加されました。
(設定を有効にするには、「デフォルトのサーバー設定を有効にする」のチェックボックスをオフにする必要があります)
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末の特定のディスプレイを選択して表示できるようになりました
(使用するには ISL AlwaysOn の接続オプションで「ISL Light Client を利用する」のチェックを外す必要があります)
- ◆ プロダクトログインページの[その他] > [EXE 実行]から、Windows 端末に対し特定の EXE を（システムアカウントで）実行できるようになりました。
- ◆ Mac 端末に接続した際、セッション再接続が自動で有効化されるようになりました。

● 修正事項

- ◆ Mac の端末間でデスクトップ共有を行った際、Cmd+スペース、Ctrl+スペースのショートカットの送信が正常に機能しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。(2015.12.15 追記)
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。

- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[レコーディング]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページで[その他] > [シャットダウン]実行後、.out のリンクをクリックして実行結果をダウンロードすることはできません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル (.isr) は再生できません。(2018.11.08 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]-[詳細設定]-[Wake On LAN]の設定は正常に動作しません。(2019.05.10 追記)

ご不明点や不具合などがございましたら、下記 ISL Online FAQ ページをご参照ください。

<https://www.islonline.jp/help/index.html>

ISL Online 製品に関するお問い合わせはメールのみになります。

電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

製品の詳しい情報については、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。

<https://www.islonline.jp/>

ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

URL: <https://www.xlab.si/>



ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: <https://www.oceanbridge.jp/>

